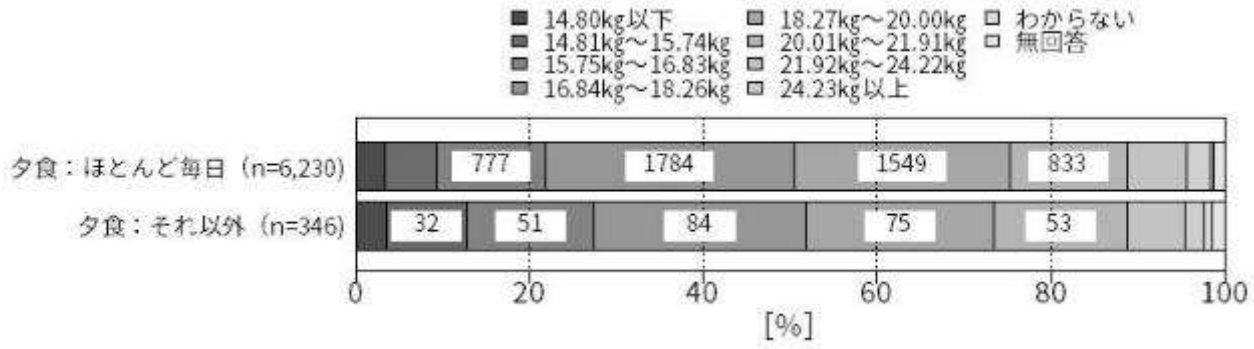
夕食の頻度別に見た、現在の体重（問 20×問 13-2）

＜大阪市 24 区＞



＜大阪市旭区＞

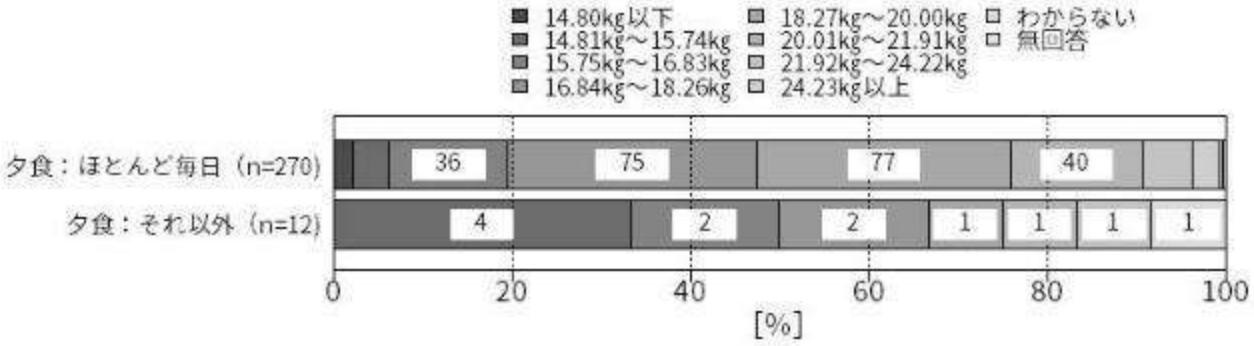
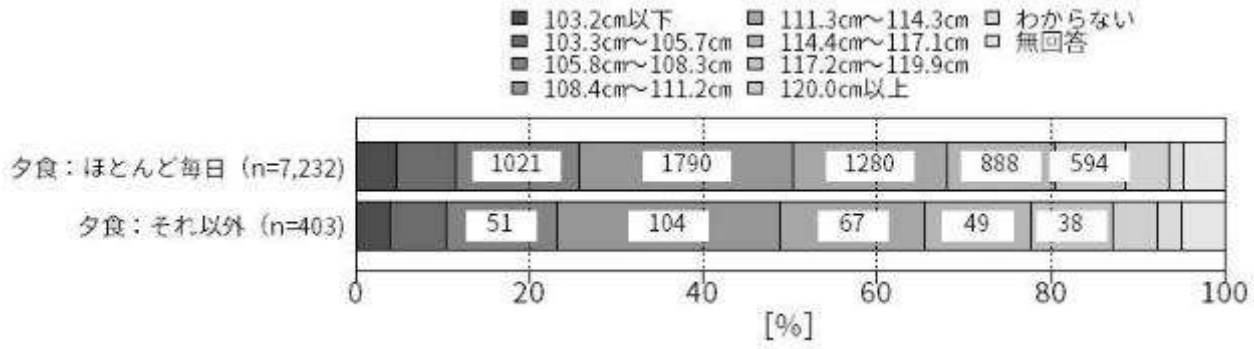


図 136. 夕食の頻度別に見た、現在の体重

夕食を毎日食べるわけではない群は人数が少ないため、比較して傾向を述べることはできない。

夕食の頻度別に見た、現在の身長（問 20×問 14-1）

＜大阪市 24 区＞



＜大阪市旭区＞

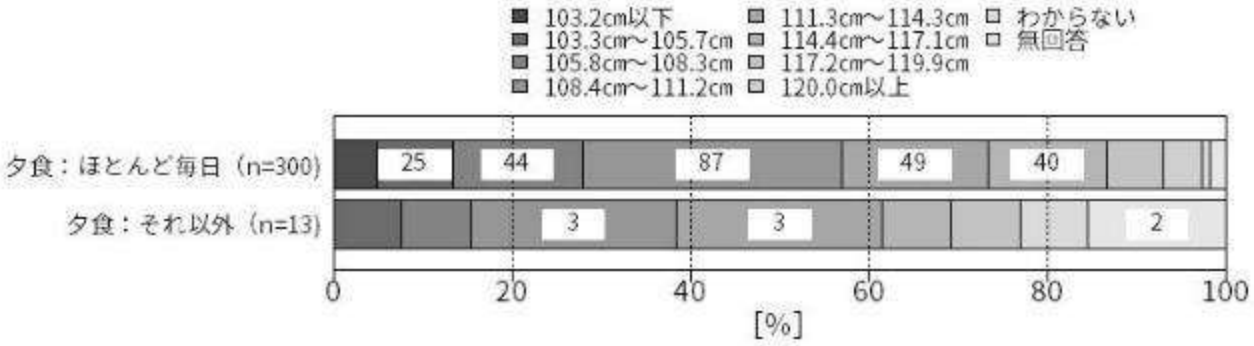
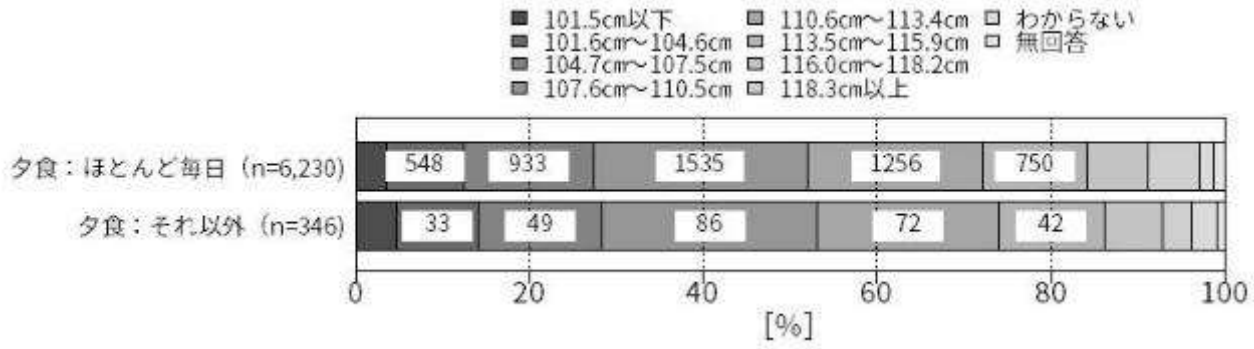


図 137. 夕食の頻度別に見た、現在の身長

夕食を毎日食べるわけではない群は人数が少ないため、比較して傾向を述べることはできない。

夕食の頻度別に見た、現在の身長（問 20×問 14-2）

＜大阪市 24 区＞



＜大阪市旭区＞

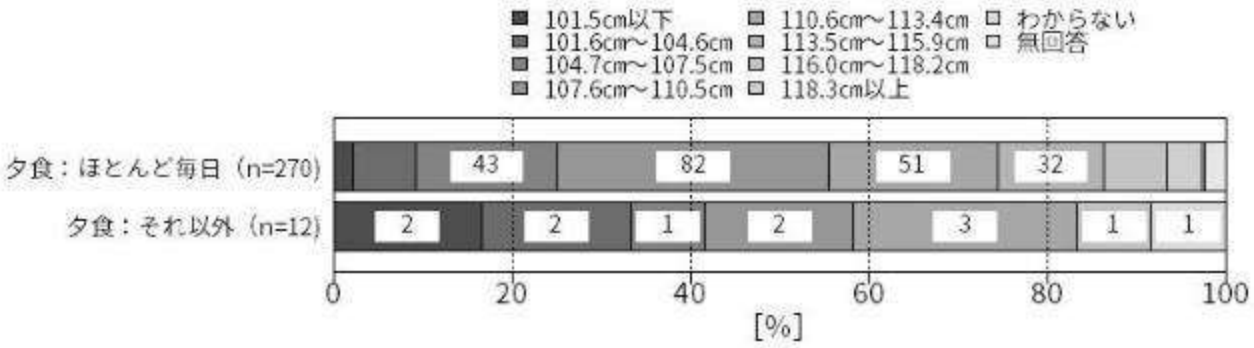
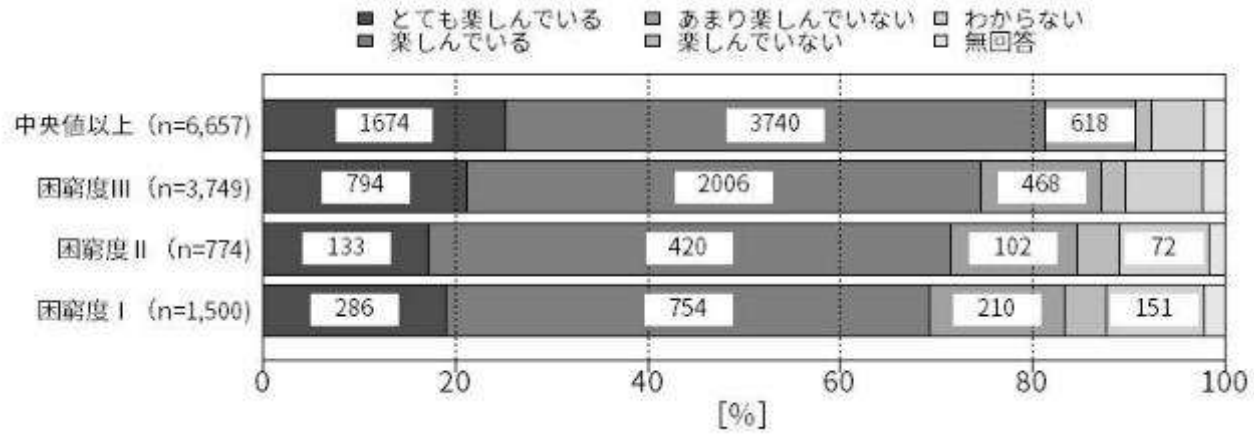


図 138. 夕食の頻度別に見た、現在の身長

夕食を毎日食べるわけではない群は人数が少ないため、比較して傾向を述べることはできない。

困窮度別に見た、心の状態（１）生活を楽しんでいる（問 36-1）

＜大阪市 24 区＞



＜大阪市旭区＞

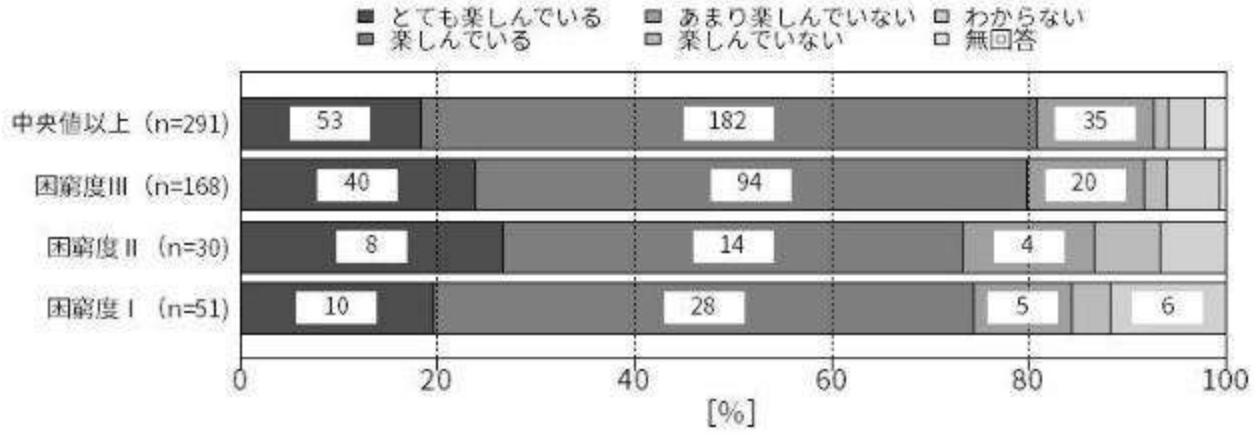
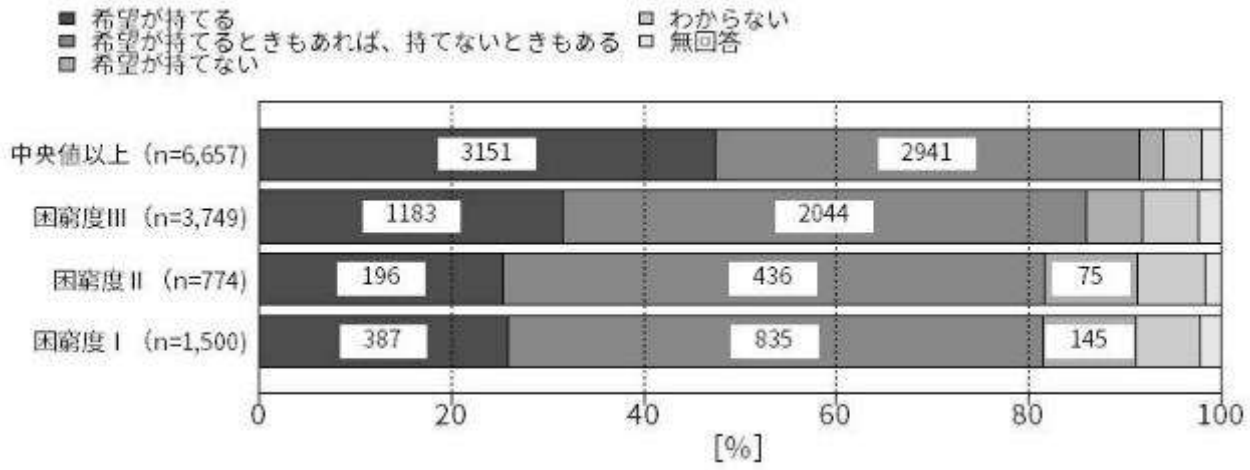


図 139. 困窮度別に見た、心の状態（１）生活を楽しんでいる

困窮度が厳しくなるにしたがって、「とても楽しんでいる」「楽しんでいる」をあわせた割合が低くなる傾向にあり、困窮度Ⅰ群においては 74.5%であった。

困窮度別に見た、心の状態（２）将来への希望（問 36-2）

＜大阪市 24 区＞



＜大阪市旭区＞

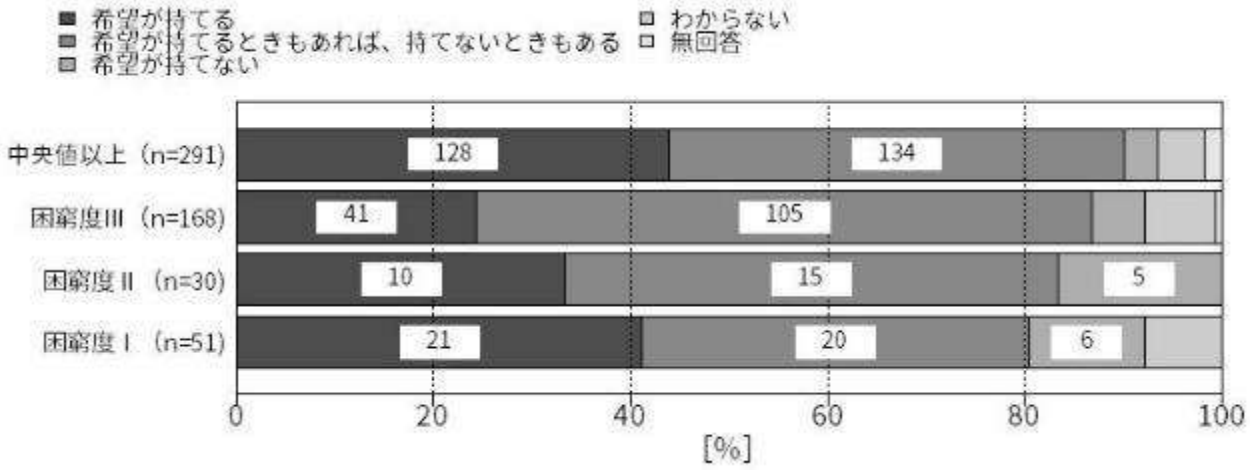
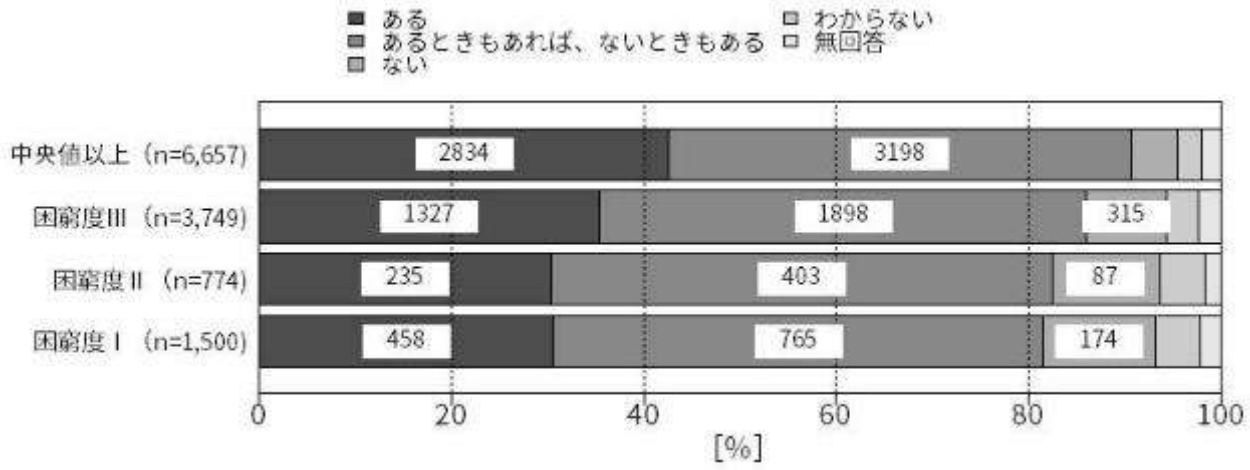


図 140. 困窮度別に見た、心の状態（２）将来への希望

困窮度が厳しくなるにしたがって、「希望が持てない」の割合が高くなる傾向にあった。

困窮度別に見た、心の状態（３）ストレス発散できるもの（問 36-3）

＜大阪市 24 区＞



＜大阪市旭区＞

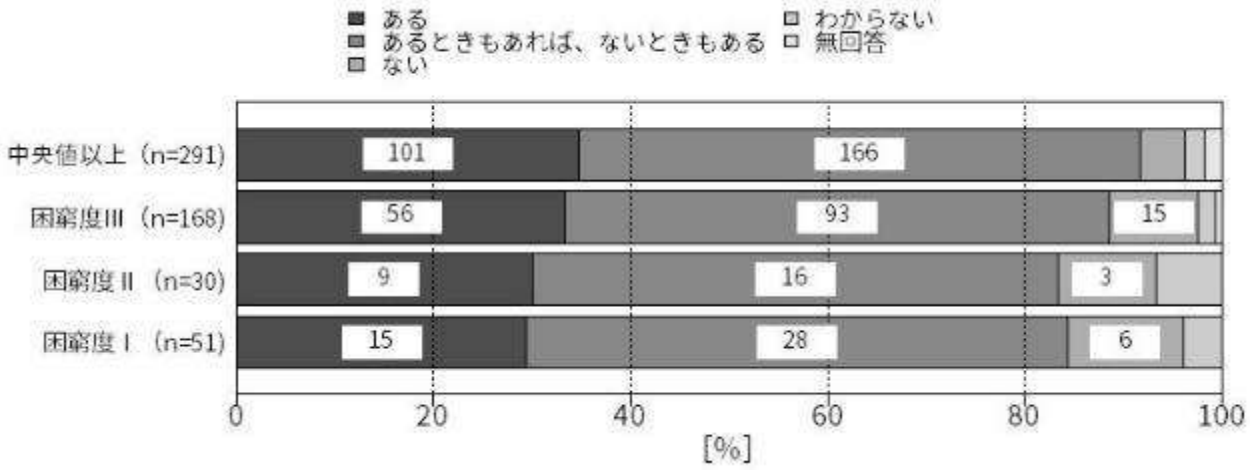
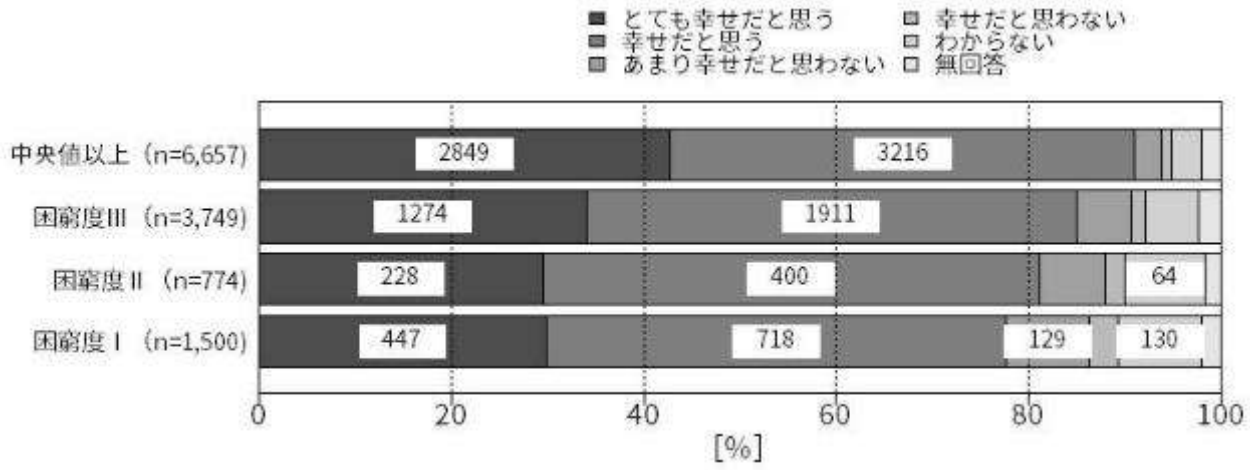


図 141. 困窮度別に見た、心の状態（３）ストレス発散できるもの

困窮度が厳しくなるにしたがって、ストレス発散できるものが「ない」と回答した割合が高くなる傾向にあり、困窮度Ⅰ群においては 11.8%であった。

困窮度別に見た、心の状態（４）幸せだと思う（問 36-4）

＜大阪市 24 区＞



＜大阪市旭区＞

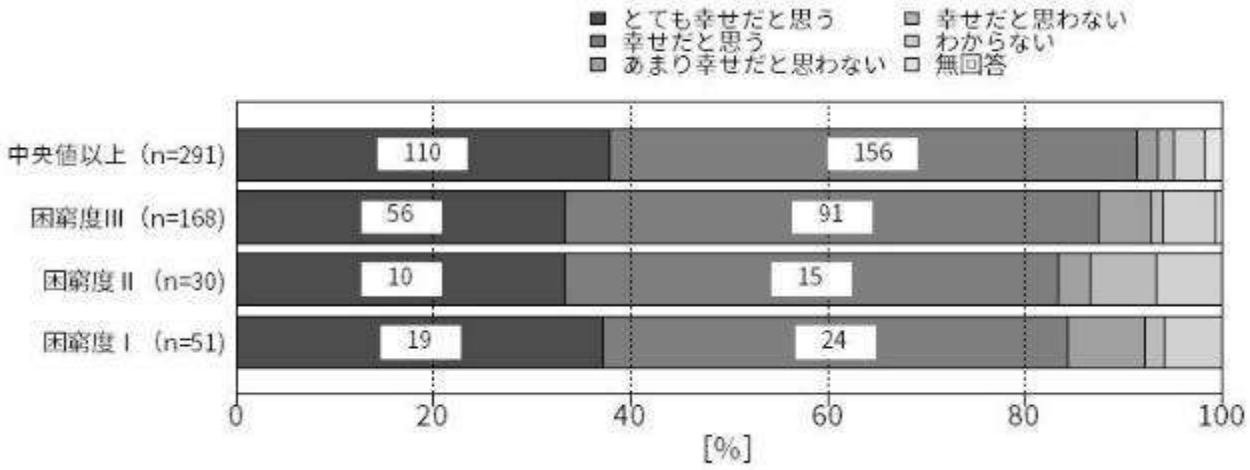
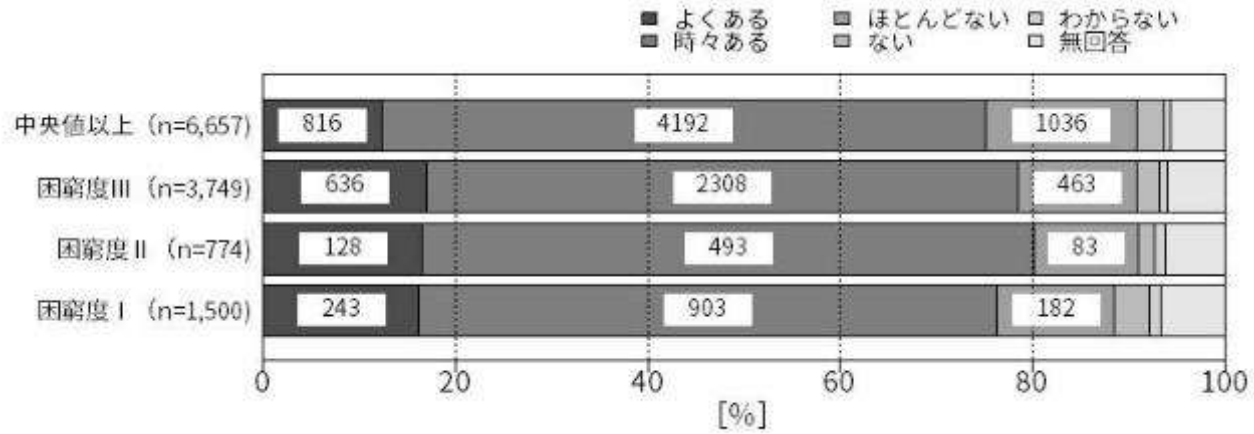


図 142. 困窮度別に見た、心の状態（４）幸せだと思う

困窮度が厳しくなるにしたがって、「とても幸せだと思う」「幸せだと思う」の合計割合が低くなる傾向にあった。

困窮度別に見た、不安やイライラなどを子どもに向けることの頻度（問 38）

＜大阪市 24 区＞



＜大阪市旭区＞

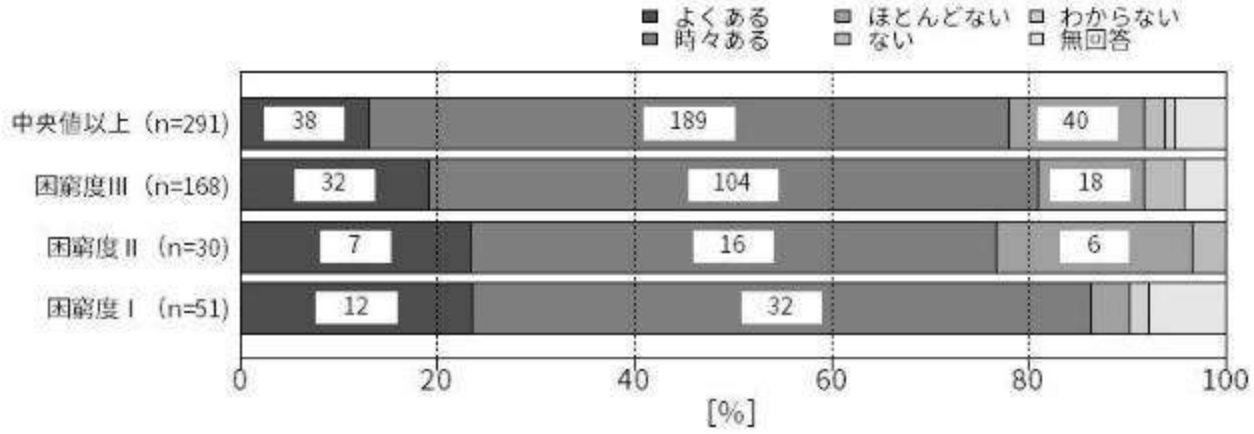


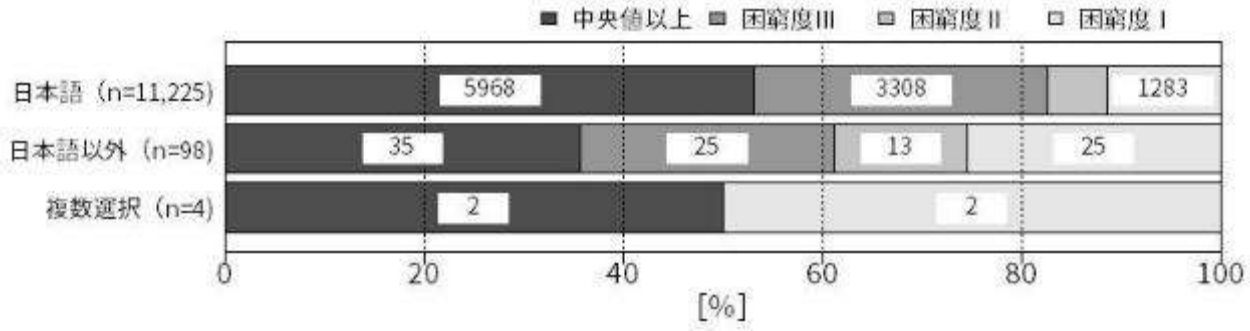
図 143. 困窮度別に見た、不安やイライラなどを子どもに向けることの頻度

中央値以上群に比べ他の群では、不安やイライラなどの感情を子どもに向けてしまうことが「よくある」と回答した割合が高くなる傾向にあった。中央値以上群では 13.1%、困窮度 I 群では 23.5%であった。

３－４．家庭生活・学習

母国語別に見た困窮度分類（問 2）

＜大阪市 24 区＞



＜大阪市旭区＞

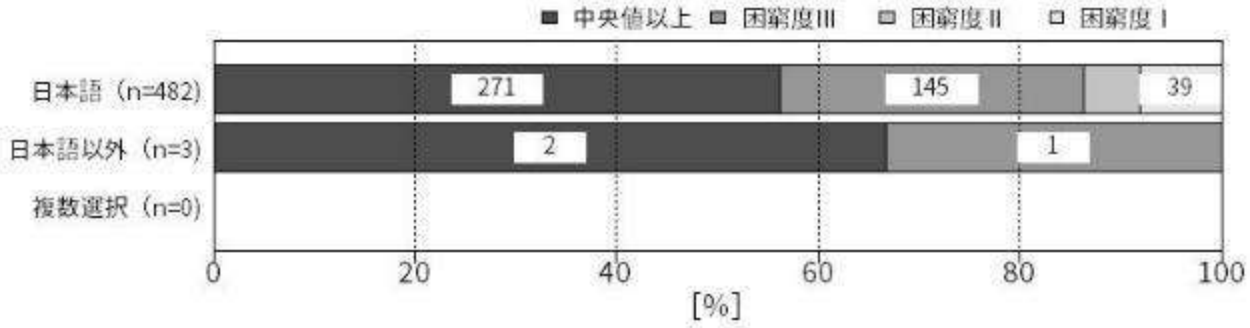
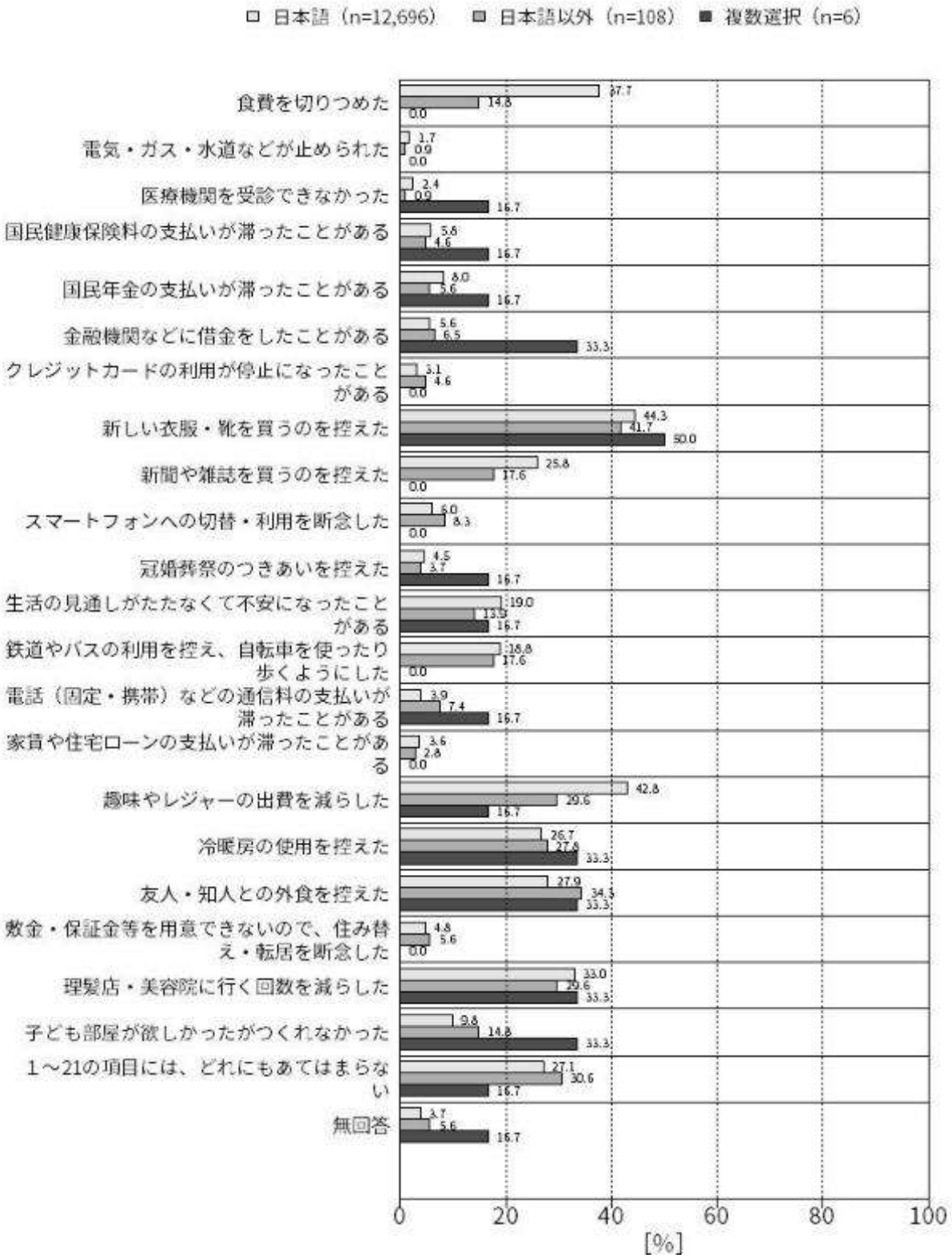


図 144. 母国語別に見た困窮度分類

日本語を母語としない人は人数が少ないため、比較して傾向を述べることはできない。

母国語別に見た、世帯で経済的な理由でできなかったこと（問 2×問 6）

＜大阪市 24 区＞



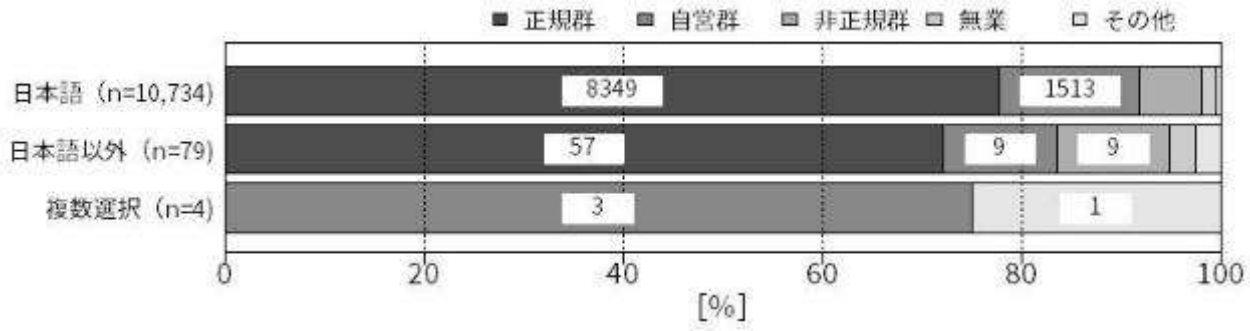
＜大阪市旭区＞

図 145. 母国語別に見た、世帯で経済的な理由でできなかったこと

日本語を母語としない人は人数が少ないため、比較して傾向を述べることはできない。

母国語別に見た就労状況（問 2×問 8）

＜大阪市 24 区＞



＜大阪市旭区＞

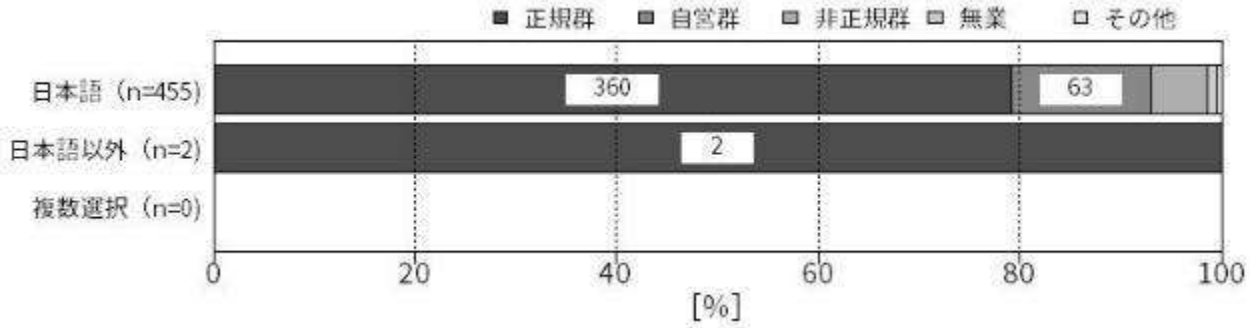
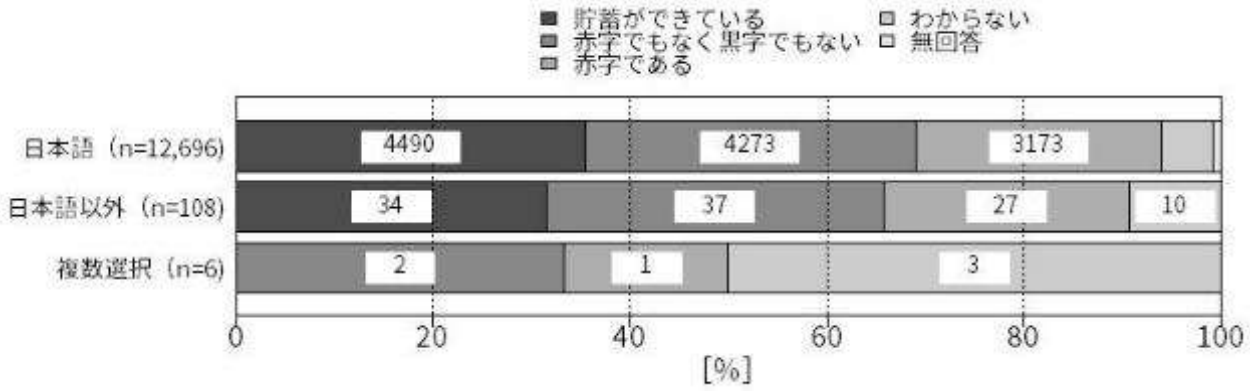


図 146. 母国語別に見た就労状況

日本語を母語としない人は人数が少ないため、比較して傾向を述べることはできない。

母国語別に見た、家計状況（問 2×問 5-1）

＜大阪市 24 区＞



＜大阪市旭区＞

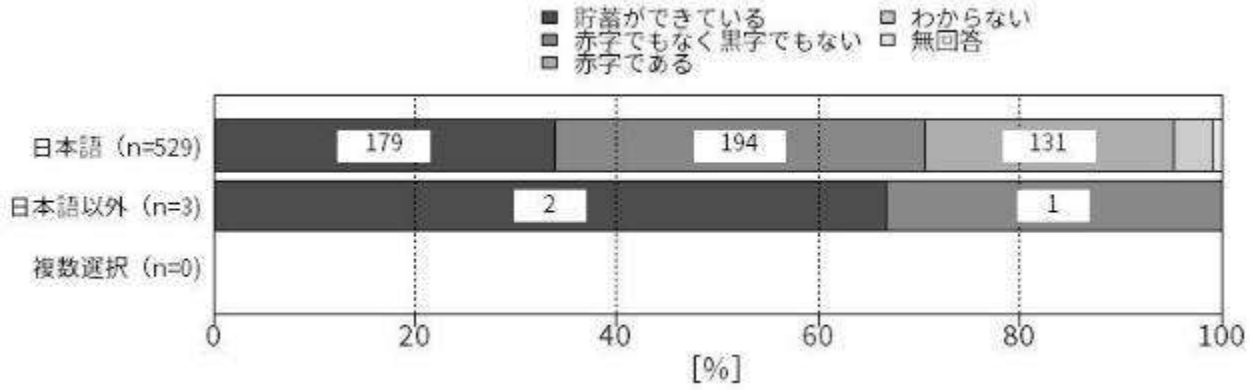
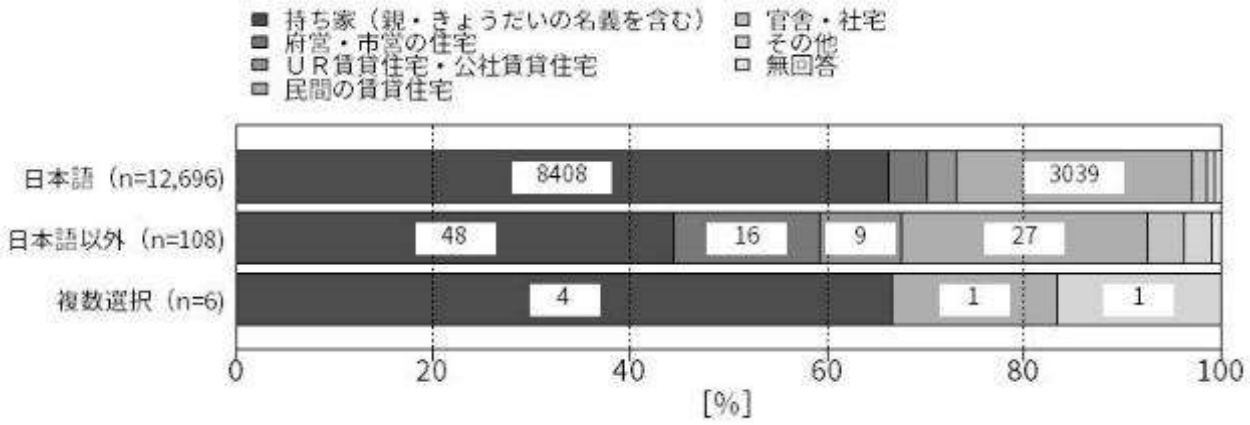


図 147. 母国語別に見た、家計状況

日本語を母語としない人は人数が少ないため、比較して傾向を述べることはできない。

母国語別に見た、住居（問 2×問 4）

＜大阪市 24 区＞



＜大阪市旭区＞

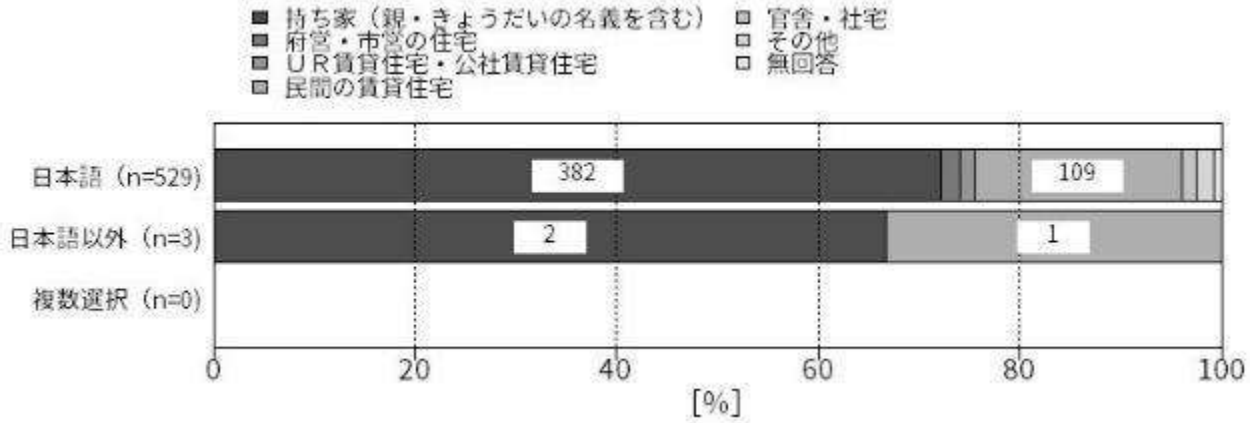


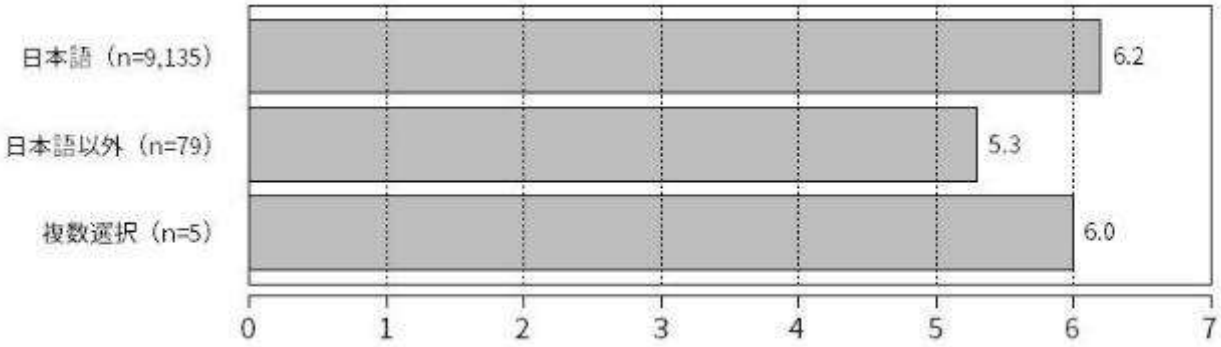
図 148. 母国語別に見た、住居

日本語を母語としない人は人数が少ないため、比較して傾向を述べることはできない。

母国語別に見た、支えてくれる人の数の平均（問 2×問 34）

※「あなたを支え、手伝ってくれる人はいますか」という質問について、「心配ごとや悩みごとを親身になって聞いてくれる人」「あなたの気持ちを察して思いやってくれる人」「趣味や興味のあることを一緒に話して、気分転換させてくれる人」「子どもとの関わりについて、適切な助言をしてくれる人」「子どもの学びや遊びを豊かにする情報を教えてくれる人（運動や文化活動）」「子どもの体調が悪いとき、医療機関に連れて行ってくれる人」「留守を頼める人」の 7 項目を提示した。それぞれの人物が「いる」か「いない」かで評定させたうえで、「いない」を 0 点、「いる」を 1 点とし、7 項目の合計得点を「支えてくれる人得点」とした。得点が高いほど、身近に支えてくれる人が多く存在することを表す。

＜大阪市 24 区＞



＜大阪市旭区＞

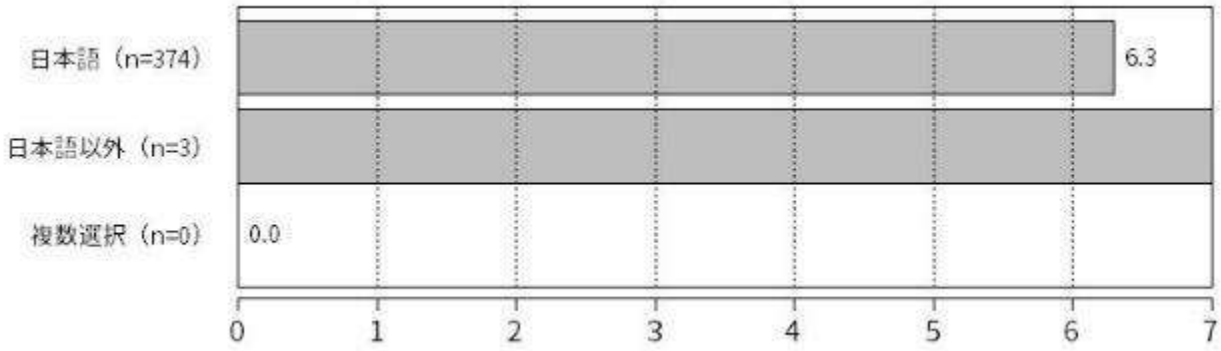
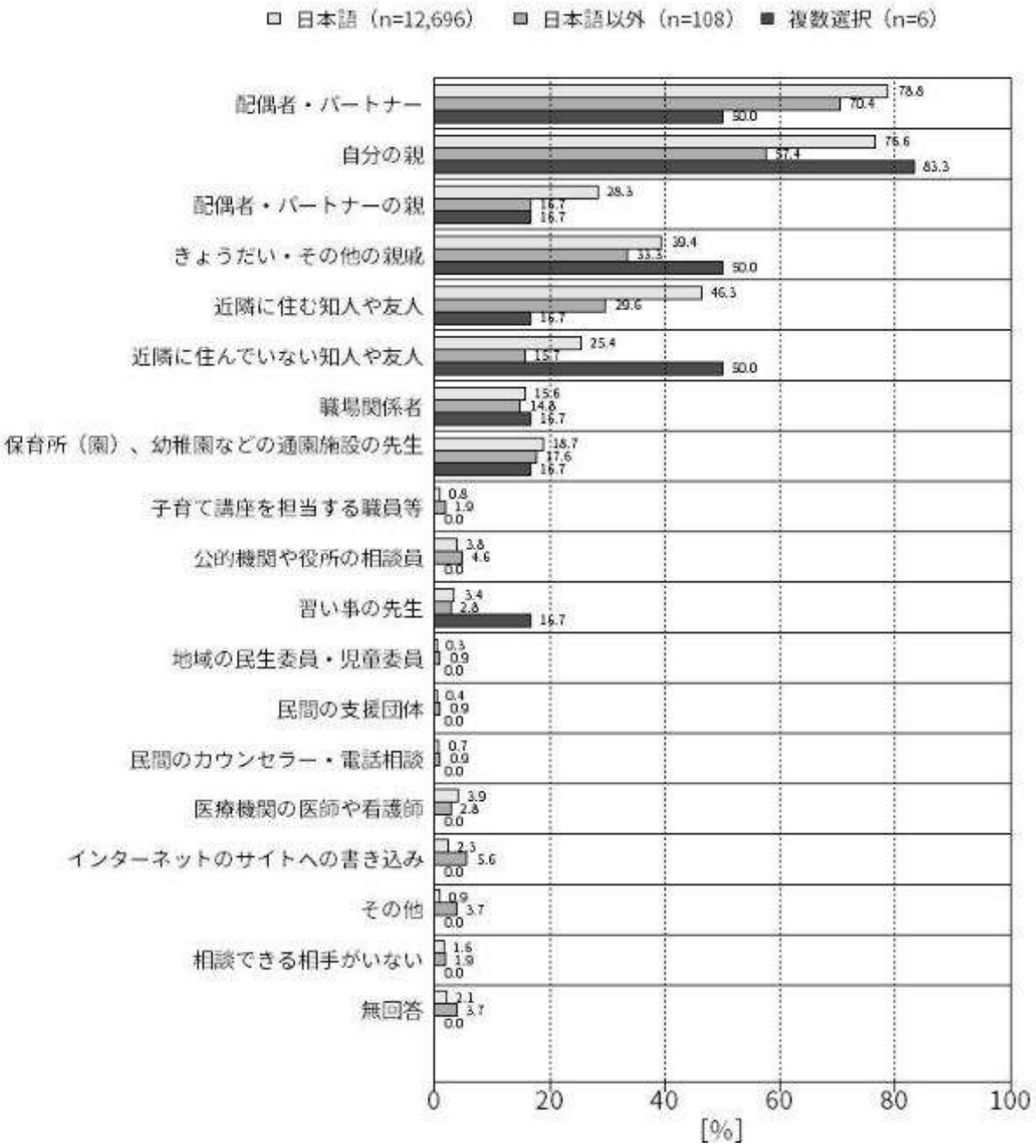


図 149. 母国語別に見た、支えてくれる人の数の平均

日本語を母語としない人は人数が少ないため、比較して傾向を述べることはできない。

母国語別に見た、相談相手（問 2×問 35）

＜大阪市 24 区＞



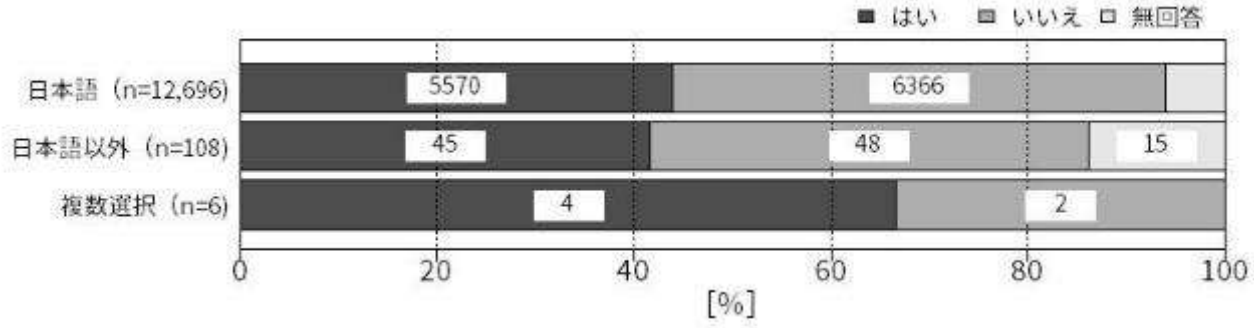
＜大阪市旭区＞

図 150. 母国語別に見た、相談相手

日本語を母語としない人は人数が少ないため、比較して傾向を述べることはできない。

母国語別に見た、回答者の健康診断受診の有無（問 2×問 39）

＜大阪市 24 区＞



＜大阪市旭区＞

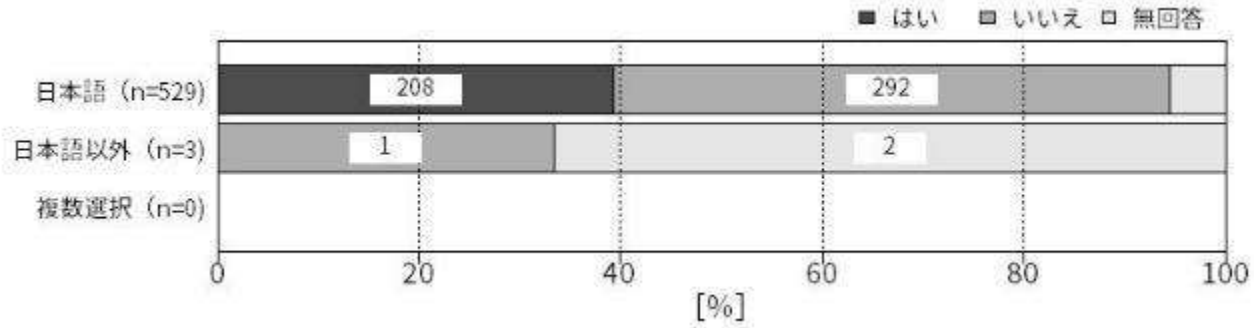
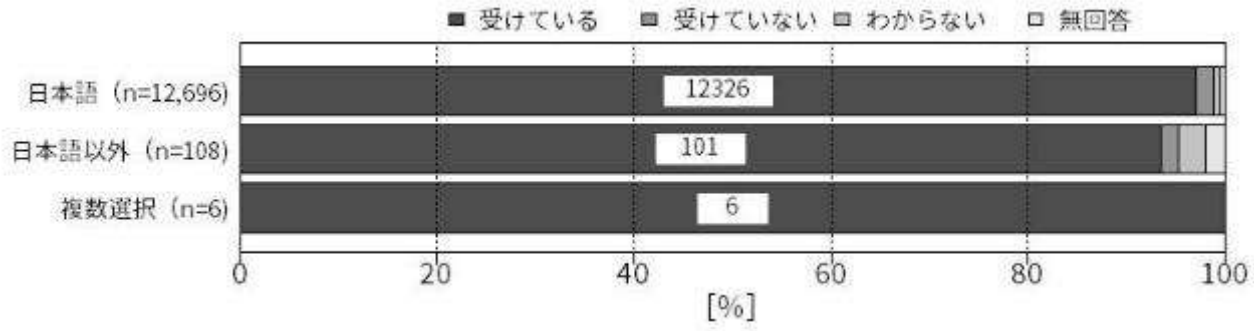


図 151. 母国語別に見た、回答者の健康診断受診の有無

日本語を母語としない人は人数が少ないため、比較して傾向を述べることはできない。

母国語別に見た、予防接種（麻しん・風しん混合ワクチン）受診の有無（問 2×問 27）

＜大阪市 24 区＞



＜大阪市旭区＞

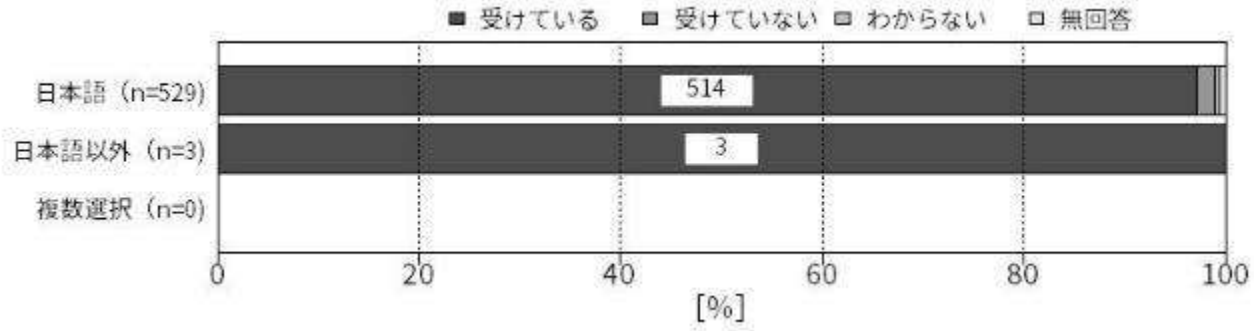
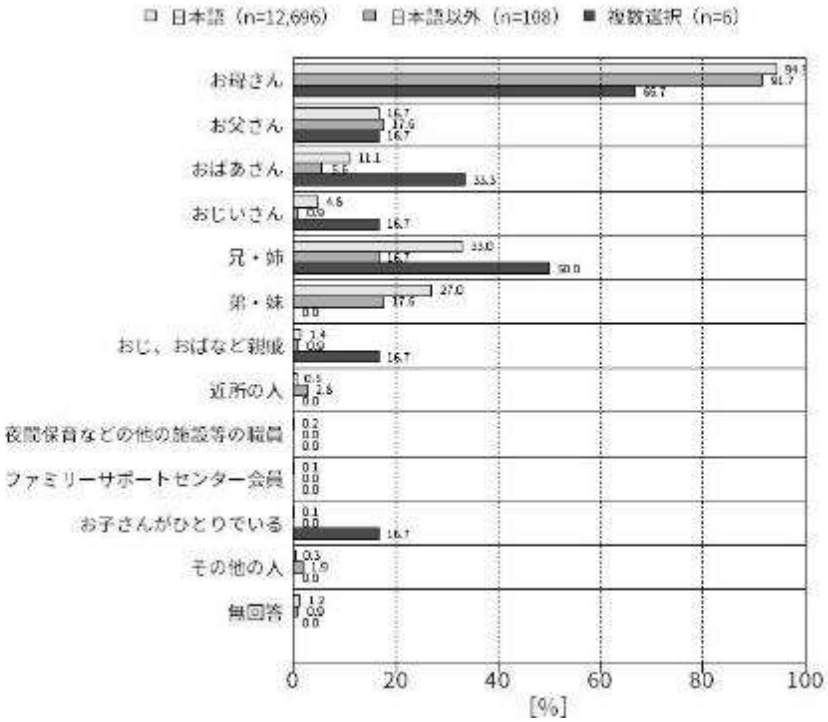


図 152. 母国語別に見た、予防接種（麻しん・風しん混合ワクチン）受診の有無

日本語を母語としない人は人数が少ないため、比較して傾向を述べることはできない。

母国語別に見た、子と過ごす人（問 2×問 10）

＜大阪市 24 区＞



＜大阪市旭区＞

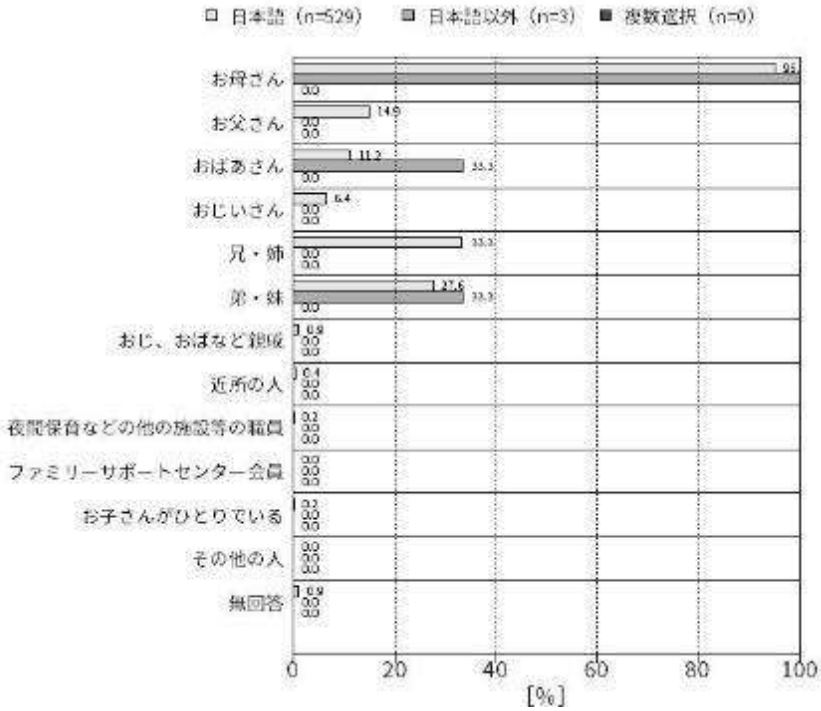
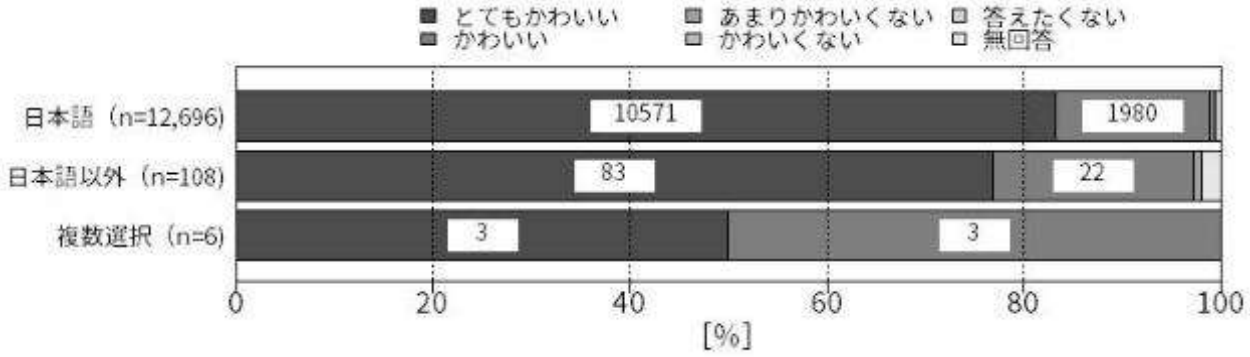


図 153. 母国語別に見た、子と過ごす人

日本語を母語としない人は人数が少ないため、比較して傾向を述べることはできない。

母国語別に見た、子との関係（１）子どもをかわいいと思うか（問 2×問 31-1）

＜大阪市 24 区＞



＜大阪市旭区＞

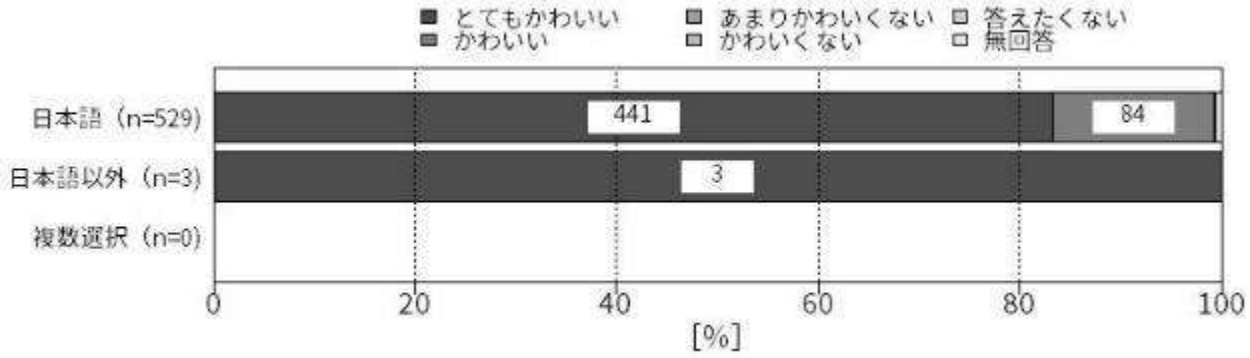
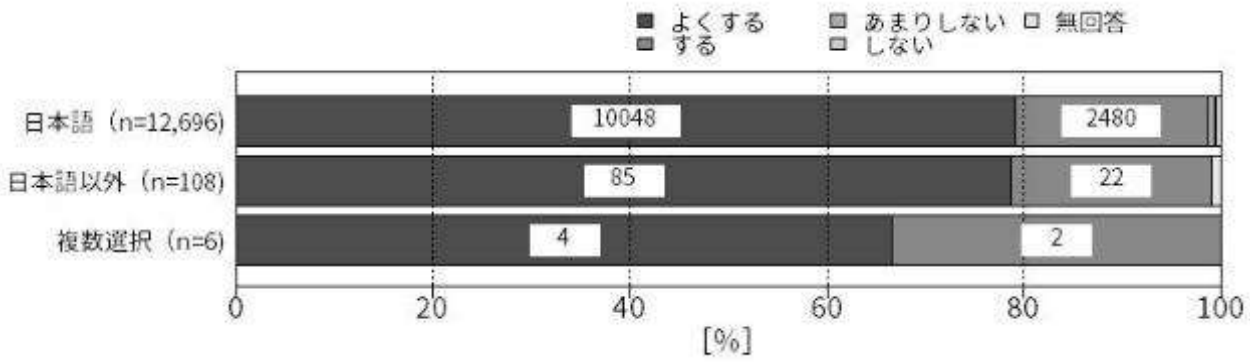


図 154. 母国語別に見た、子との関係（１）子どもをかわいいと思うか

日本語を母語としない人は人数が少ないため、比較して傾向を述べることはできない。

母国語別に見た、子との関係（２）子どもと会話（問 2×問 31-2）

＜大阪市 24 区＞



＜大阪市旭区＞

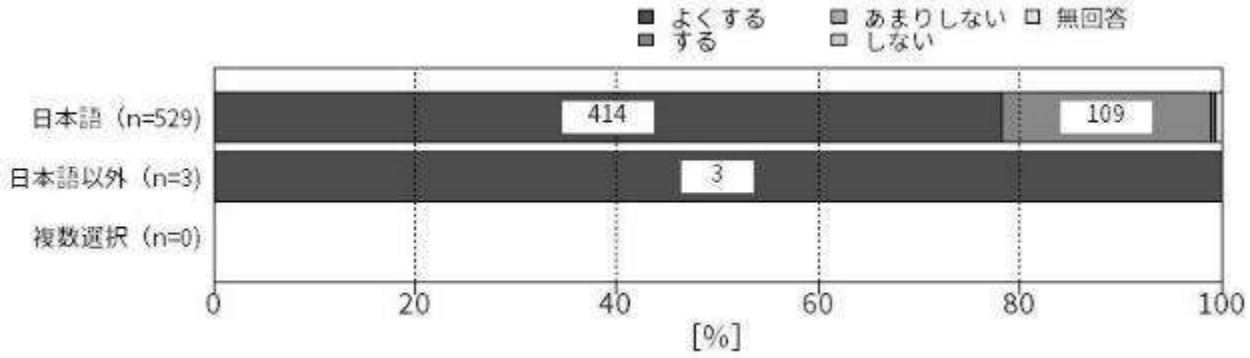
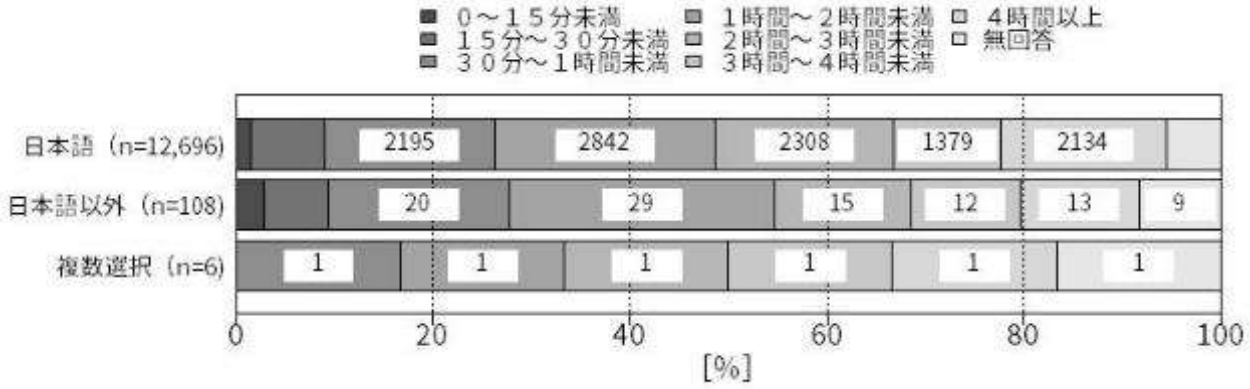


図 155. 母国語別に見た、子との関係（２）子どもと会話

日本語を母語としない人は人数が少ないため、比較して傾向を述べることはできない。

母国語別に見た、子との関係（３）子どもと一緒にいる時間（平日）（問 2×問 31-3-平日）

＜大阪市 24 区＞



＜大阪市旭区＞

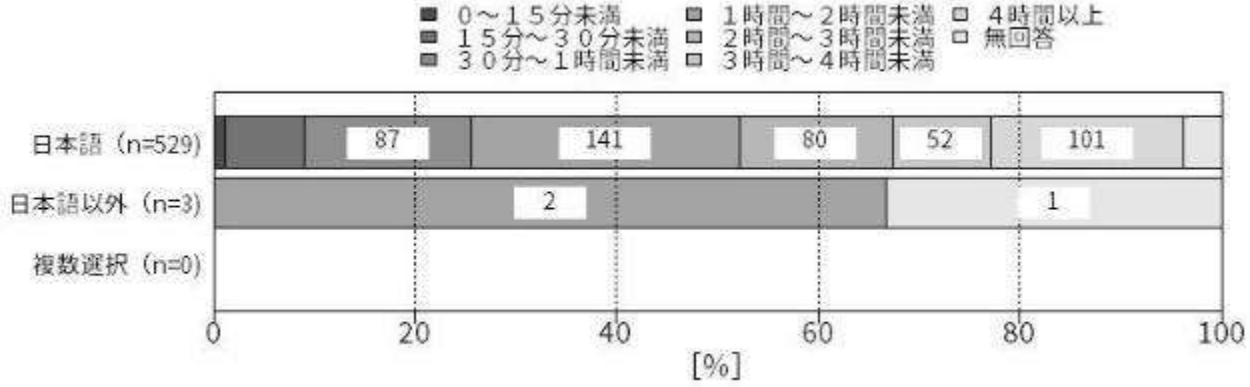
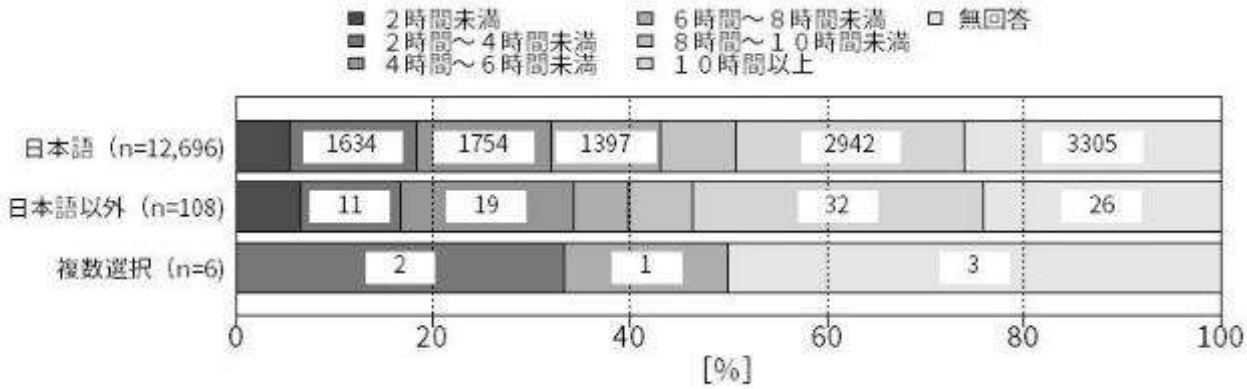


図 156. 母国語別に見た、子との関係（３）子どもと一緒にいる時間（平日）

日本語を母語としない人は人数が少ないため、比較して傾向を述べることはできない。

母国語別に見た、子との関係（３）子どもと一緒にいる時間（休日）（問 2×問 31-3-休日）

＜大阪市 24 区＞



＜大阪市旭区＞

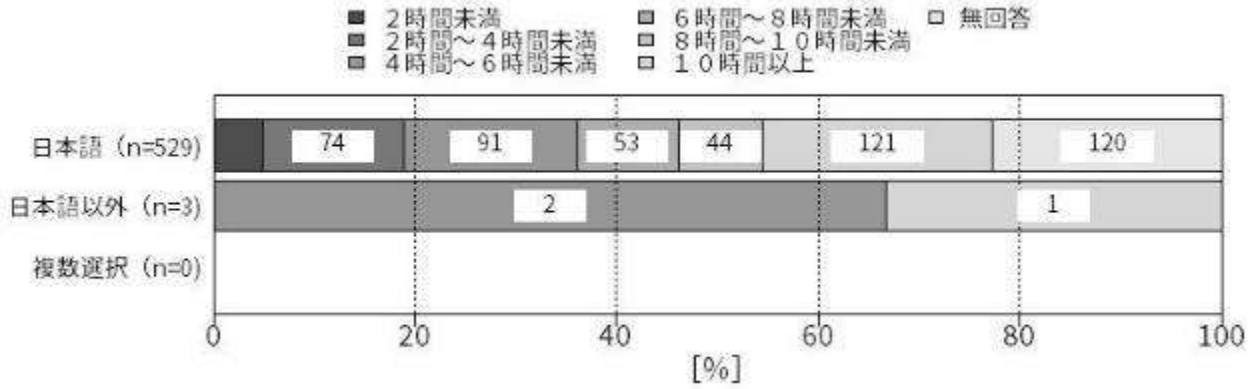
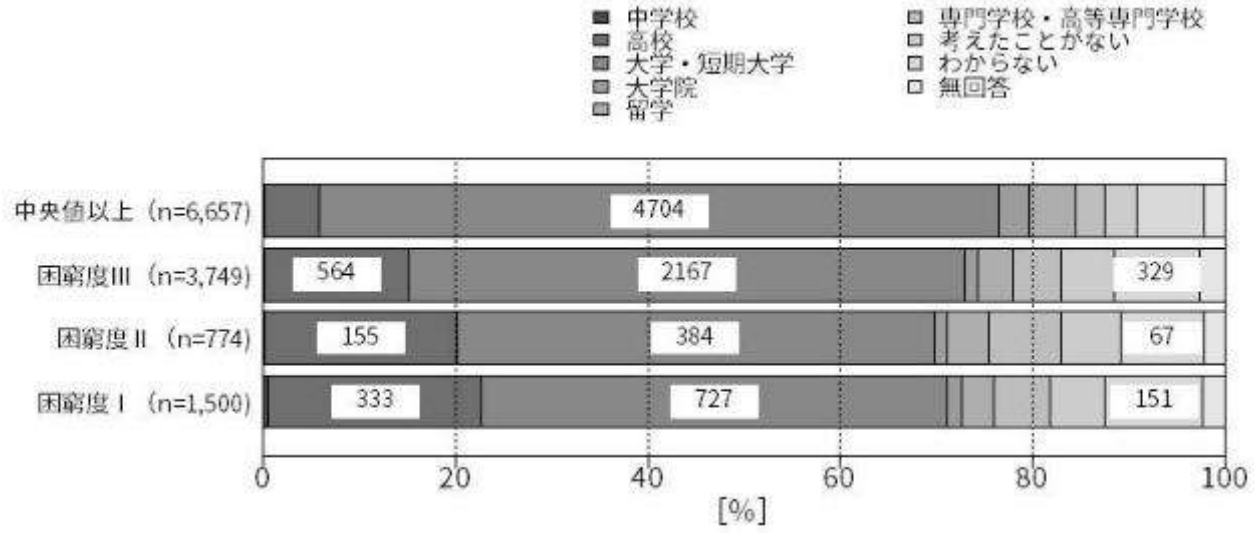


図 157. 母国語別に見た、子との関係（３）子どもと一緒にいる時間（休日）

日本語を母語としない人は人数が少ないため、比較して傾向を述べることはできない。

困窮度別に見た、子の進学先希望（問 32）

＜大阪市 24 区＞



＜大阪市旭区＞

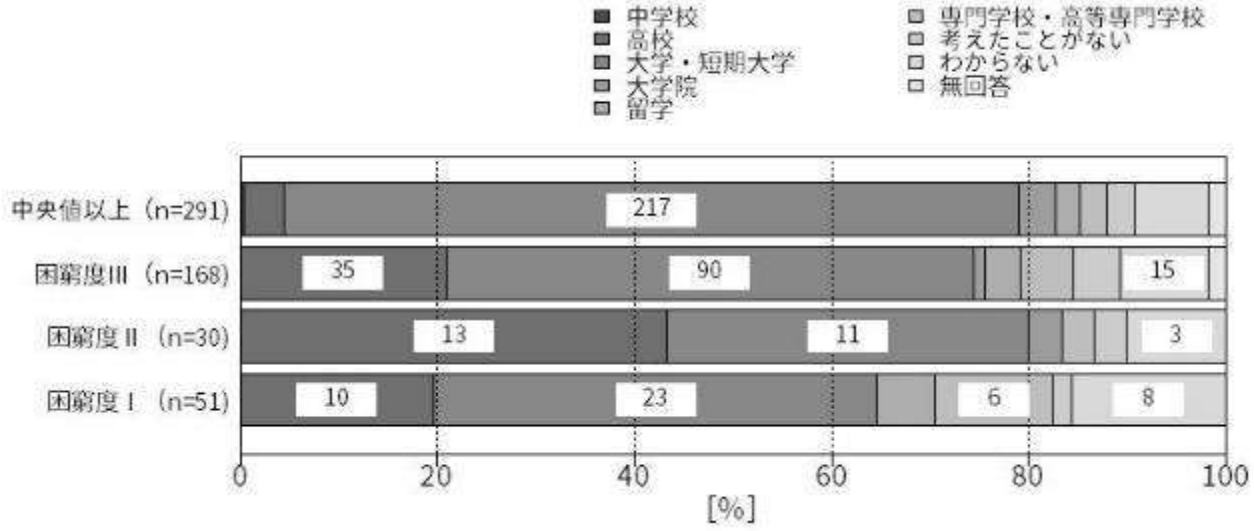
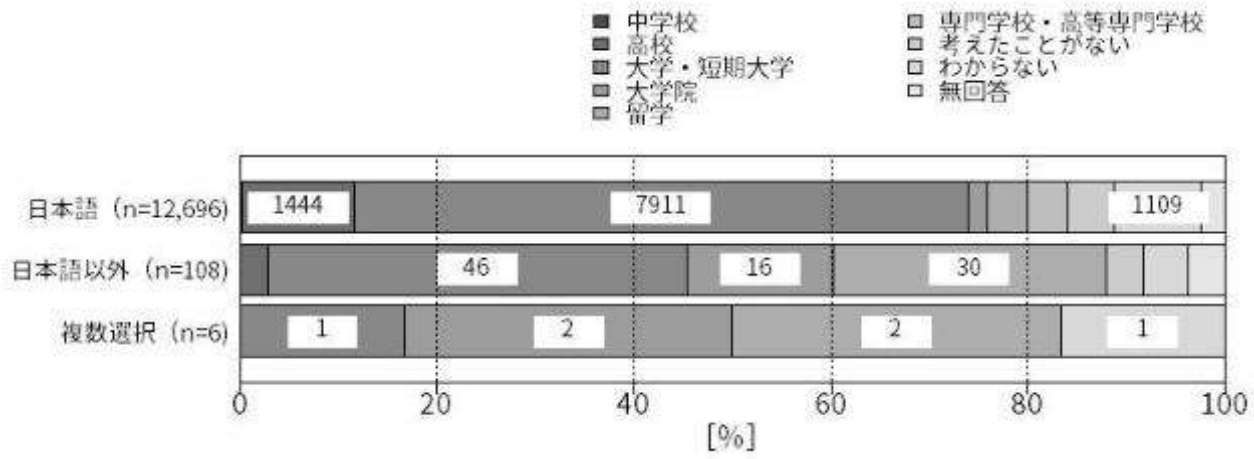


図 158. 困窮度別に見た、子の進学先希望

困窮度が高くなるにつれ、子どもの進学先を「高校」までと希望する割合が多くなっている。「高校」までと回答した割合は、中央値以上群では 4.1%であり、困窮度Ⅰ群では 19.6%だった。

母国語別に見た、子の進学先希望（問 2×問 32）

＜大阪市 24 区＞



＜大阪市旭区＞

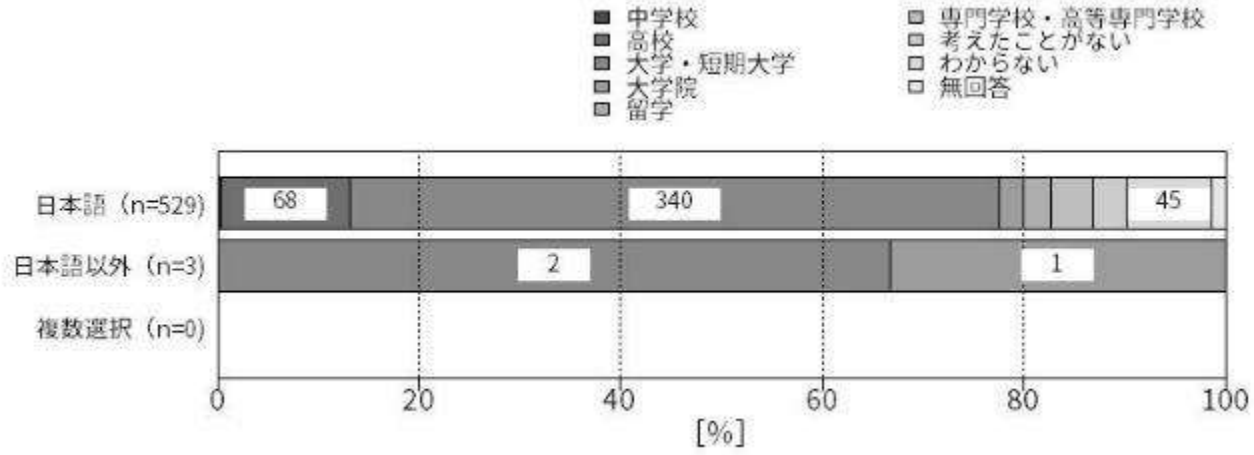
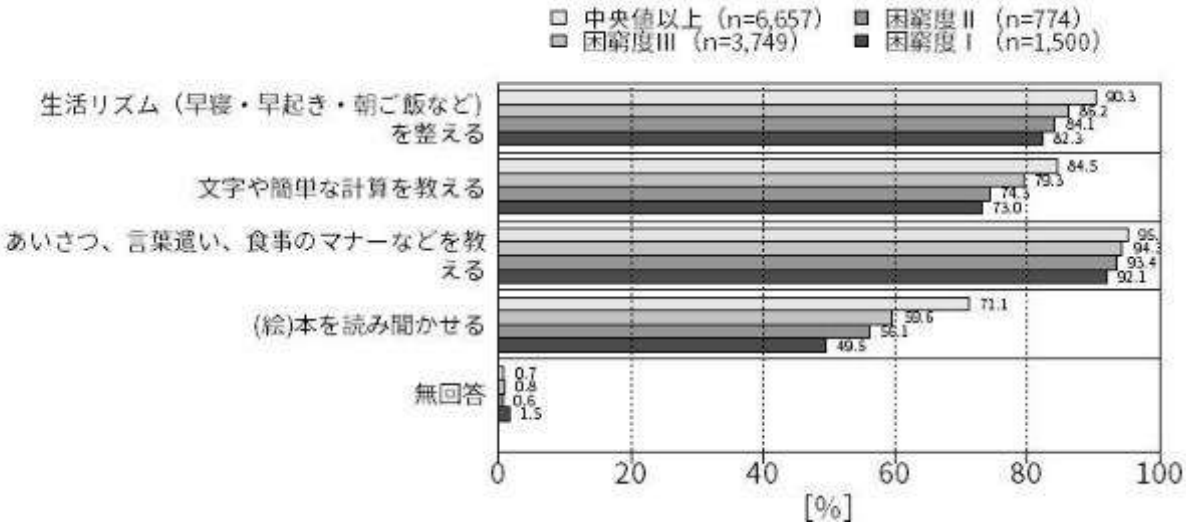


図 159. 母国語別に見た、子の進学先希望

日本語を母語としない人は人数が少ないため、比較して傾向を述べることはできない。

困窮度別に見た、しつけ（問 30）

＜大阪市 24 区＞



＜大阪市旭区＞

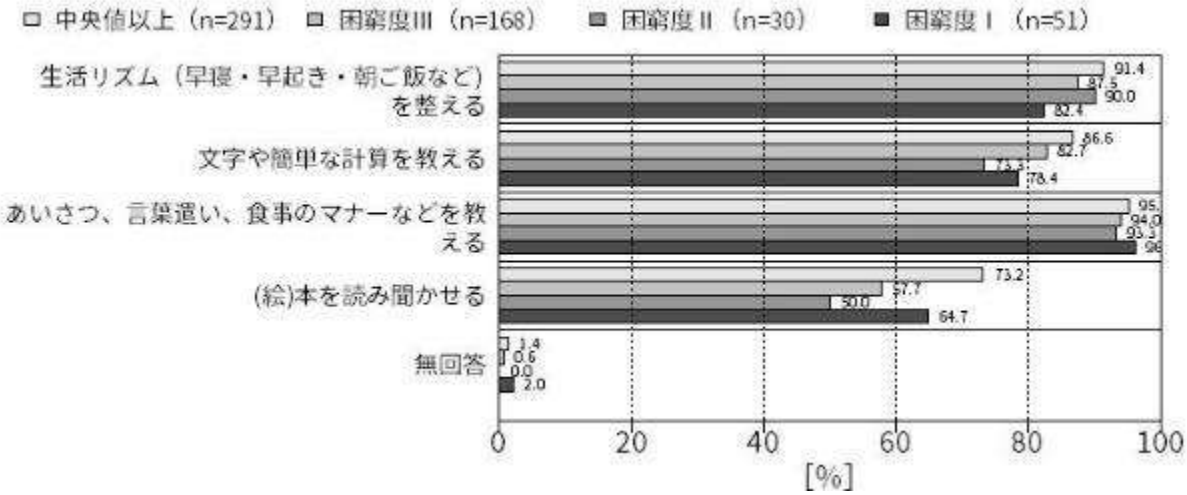
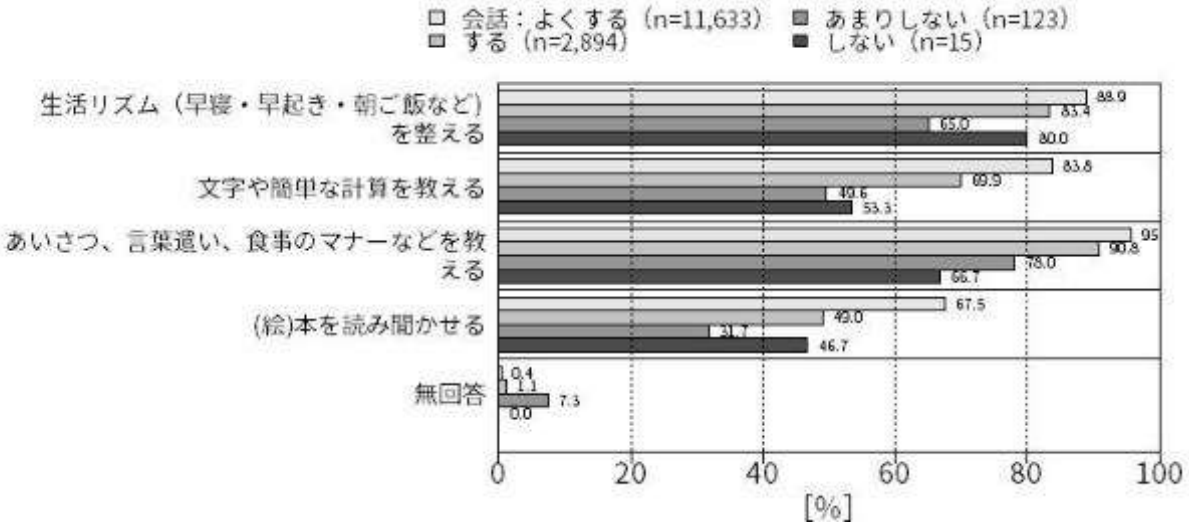


図 160. 困窮度別に見た、しつけ

子どもに対してしていることについて「生活リズム（早寝・早起き・朝ごはんなど）を整える」と回答した割合は、中央値以上群では 91.4%であったのに対して、困窮度Ⅰ群では 82.4%だった。「文字や簡単な計算を教える」と回答した割合は、中央値以上群では 86.6%であったのに対して、困窮度Ⅰ群では 78.4%だった。「(絵) 本を読み聞かせる」と回答した割合は、中央値以上群では 73.2%であったのに対して、困窮度Ⅰ群では 64.7%だった。

会話の頻度別に見た、しつけ（問 31×問 30）

＜大阪市 24 区＞



＜大阪市旭区＞

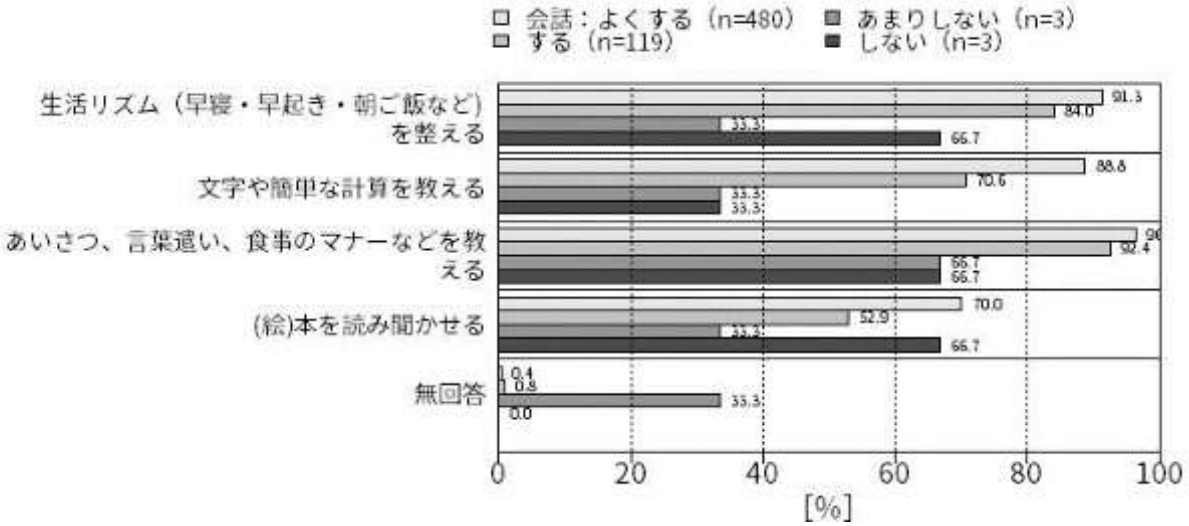
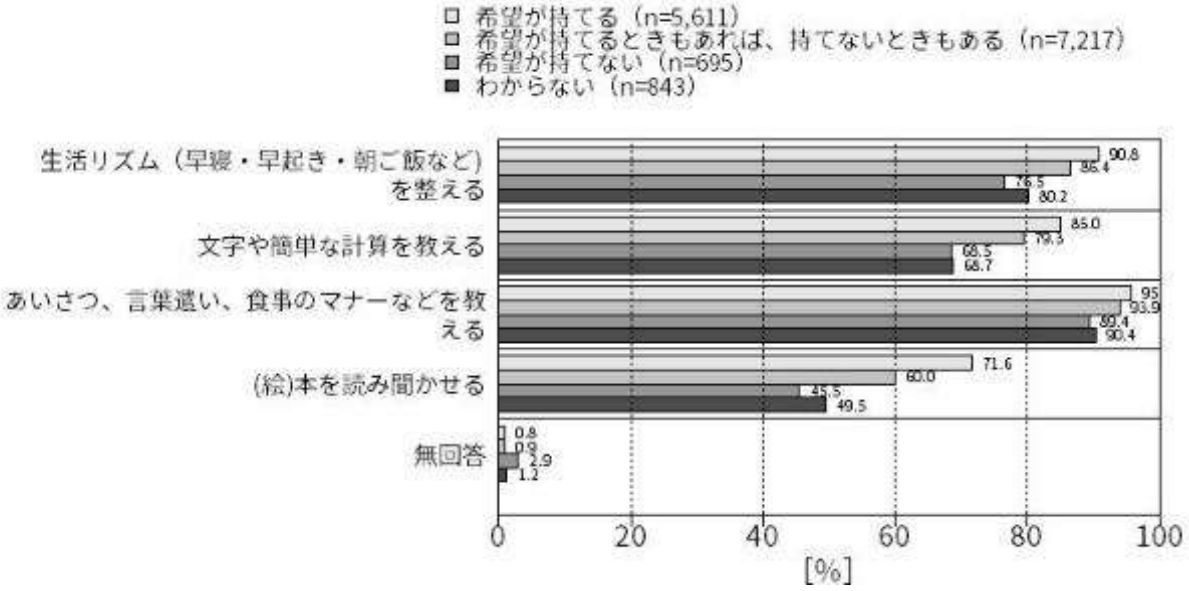


図 161. 会話の頻度別に見た、しつけ

会話の頻度別に子どもに対するしつけについて見ると、会話をよくする群では「生活リズム（早寝・早起き・朝ごはんなど）を整える」と回答した割合は 91.3%、「文字や簡単な計算を教える」と回答した割合は 88.8%、「あいさつ、言葉遣い、食事のマナーなどを教える」と回答した割合は 96.5%、「(絵）本を読み聞かせる」と回答した割合は 70.0%であった。

回答者の将来への希望別に見た、しつけ（問 36-2×問 30）

＜大阪市 24 区＞



＜大阪市旭区＞

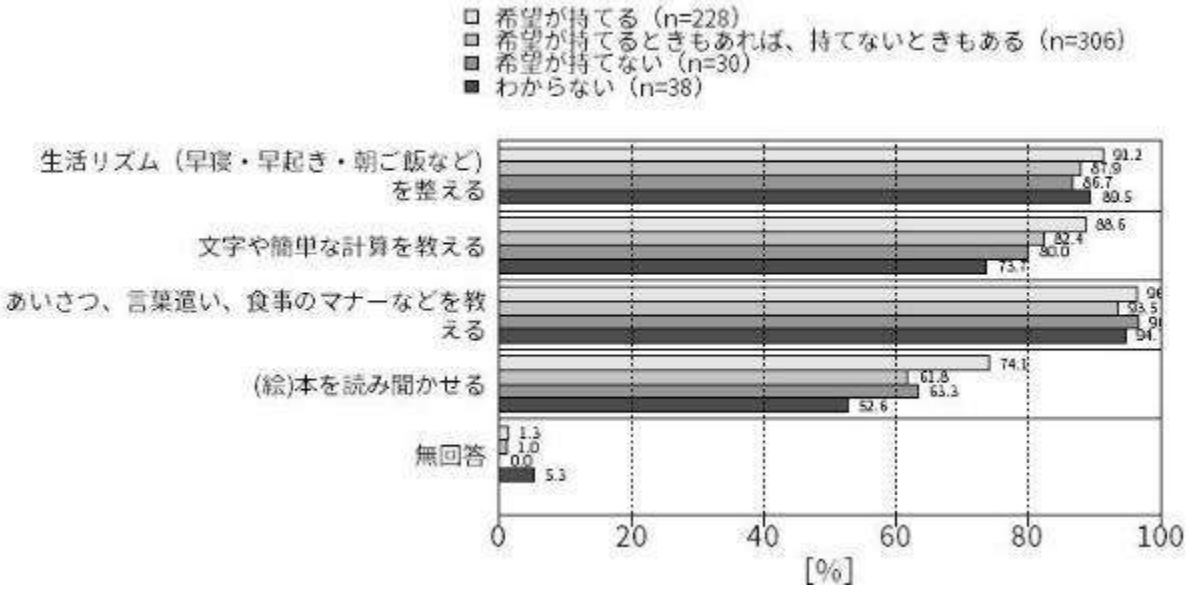
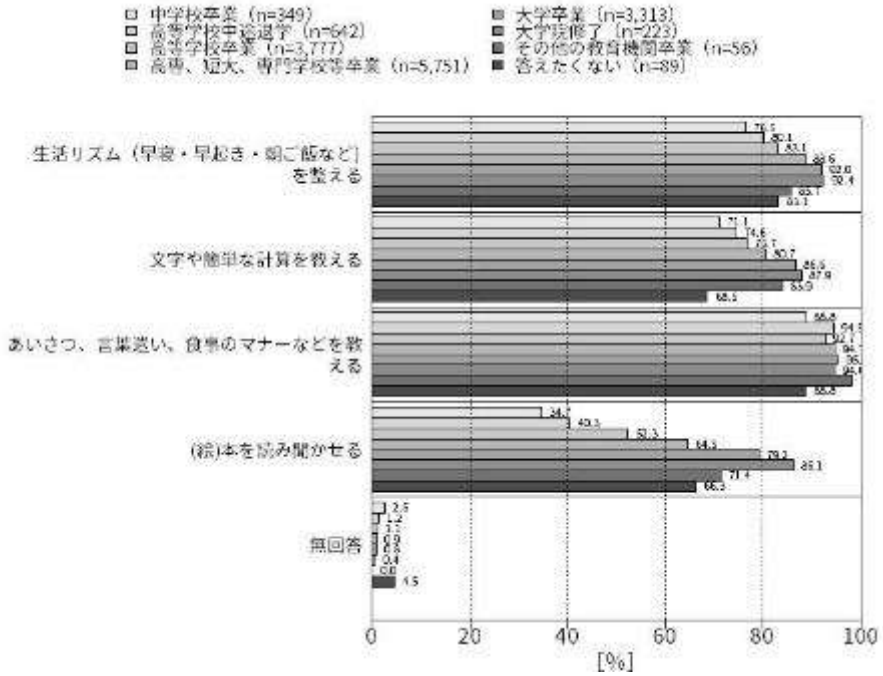


図 162. 回答者の将来への希望別に見た、しつけ

将来への希望別に子どもに対するしつけについて見ると、「生活リズム（早寝・早起き・朝ごはんなど）を整える」と回答した割合は、希望が持てる群では 91.2%であったのに対して、希望が持てない群では 86.7%だった。「文字や簡単な計算を教える」と回答した割合は、希望が持てる群では 88.6%であったのに対して、希望が持てない群では 80.0%だった。「(絵) 本を読み聞かせる」と回答した割合は、希望が持てる群では 74.1%であったのに対して、希望が持てない群では 63.3%だった。

母親の最終学歴別に見た、しつけ（問 7×問 30）

＜大阪市 24 区＞



＜大阪市旭区＞

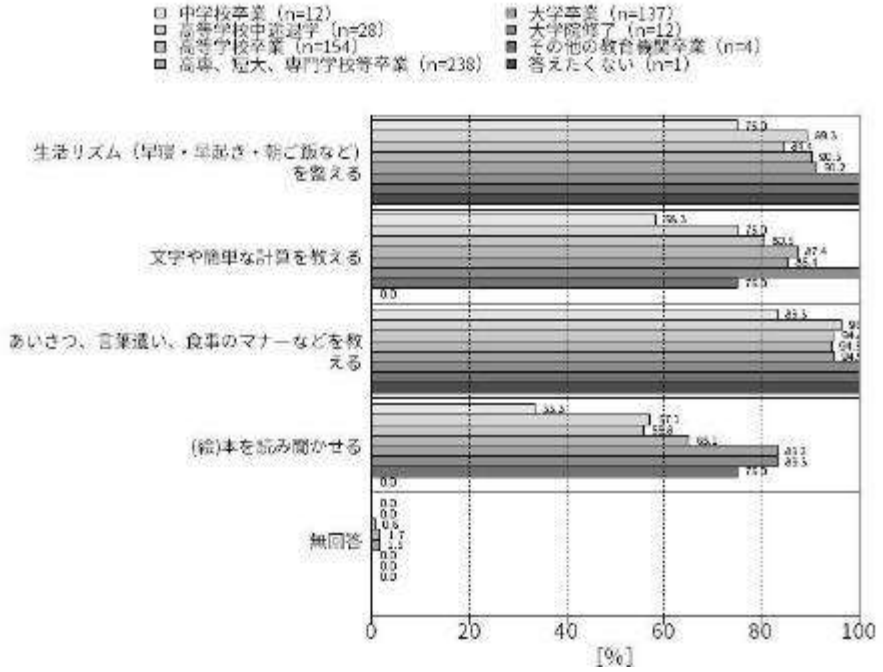
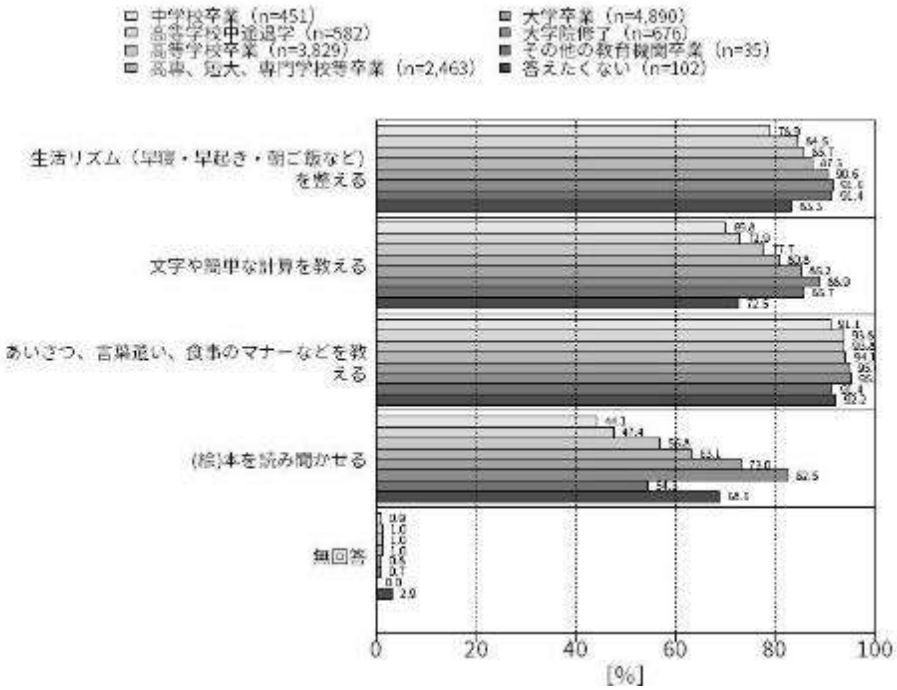


図 163. 母親の最終学歴別に見た、しつけ

母親の学歴が中学校卒業群では、「生活リズム（早寝・早起き・朝ごはんなど）を整える」と回答した割合は 75.0%、「文字や簡単な計算を教える」と回答した割合は 58.3%、「あいさつ、言葉遣い、食事のマナーなどを教える」と回答した割合は 83.3%、「(絵) 本を読み聞かせる」と回答した割合は 33.3%であった。

父親の最終学歴別に見た、しつけ（問 7×問 30）

＜大阪市 24 区＞



＜大阪市旭区＞

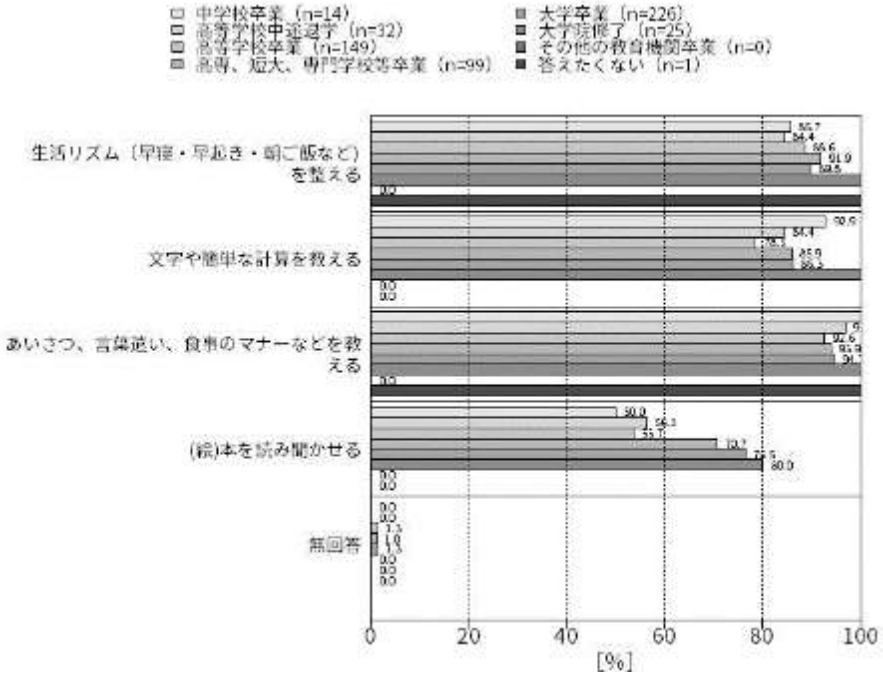
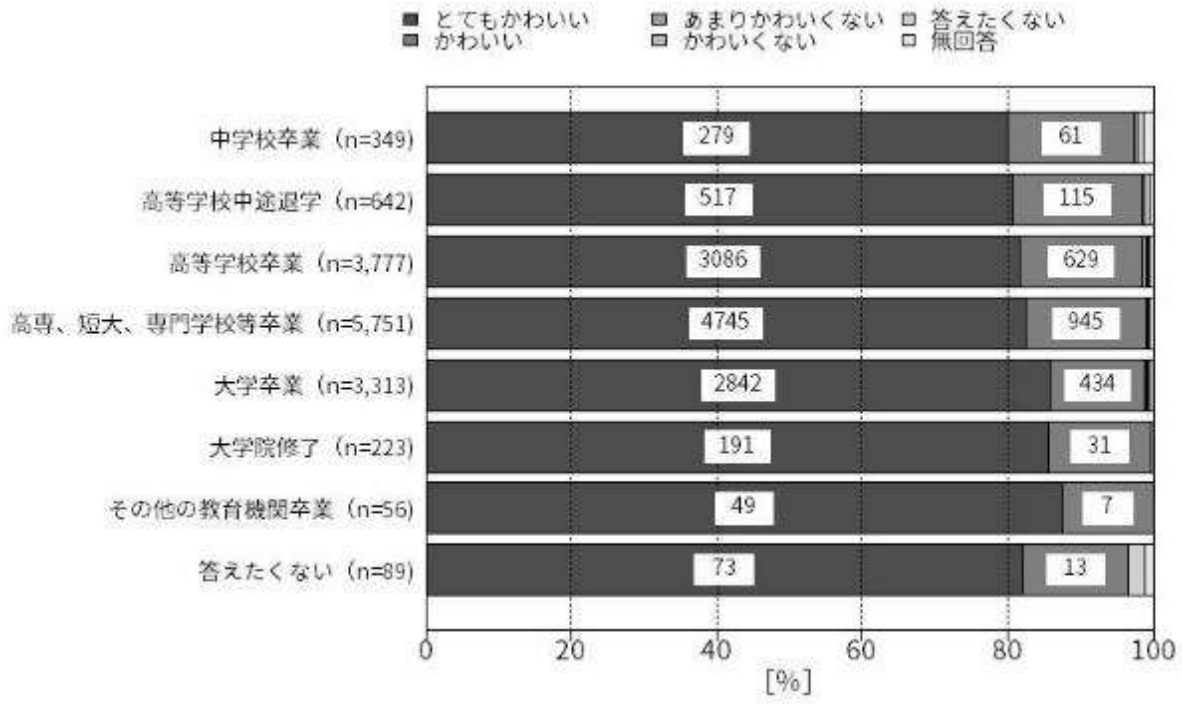


図 164. 父親の最終学歴別に見た、しつけ

父親の学歴が中学校卒業群では、「生活リズム（早寝・早起き・朝ごはんなど）を整える」と回答した割合は 85.7%、「文字や簡単な計算を教える」と回答した割合は 92.9%、「(絵）本を読み聞かせる」と回答した割合は 50.0%であった。

母親の最終学歴別に見た、子との関係（１）子どもをかわいいと思うか（問 7×問 31-1）

＜大阪市 24 区＞



＜大阪市旭区＞

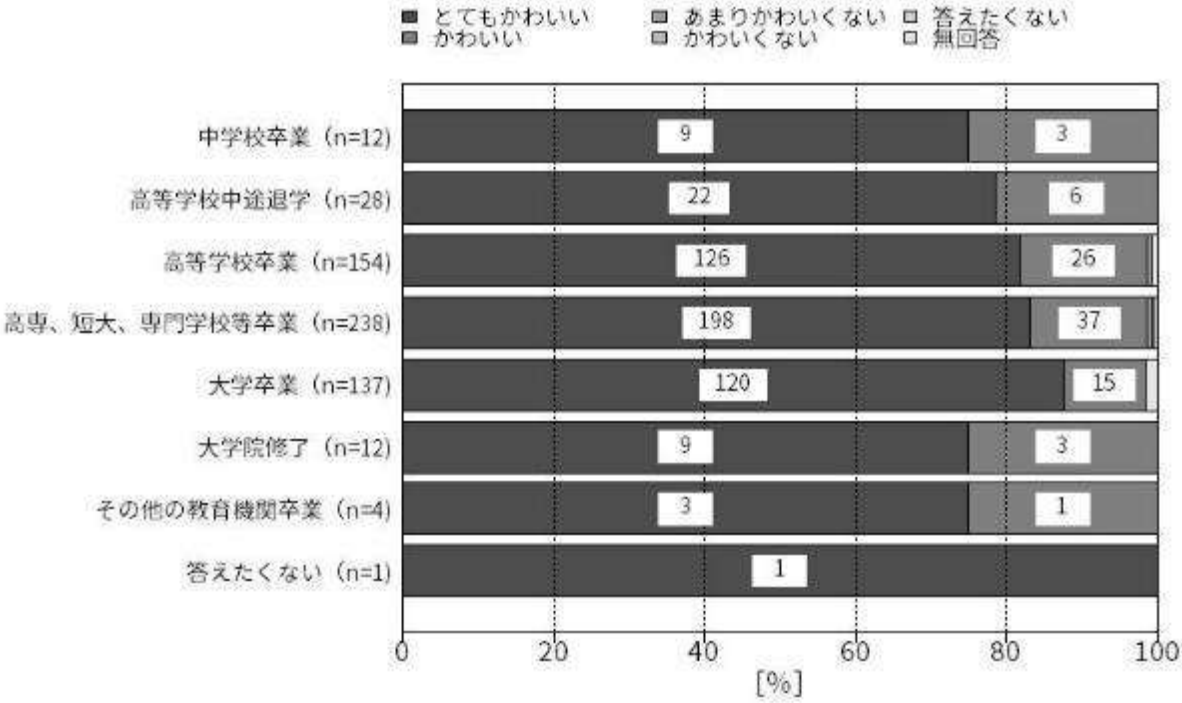


図 165. 母親の最終学歴別に見た、子との関係（１）子どもをかわいいと思うか

母親の学歴が高等学校中途退学では、子どもを「とてもかわいい」と思う割合が低くなる傾向にあった。